

「まちづくり市民アンケート」

集計・分析結果

アンケート実施状況

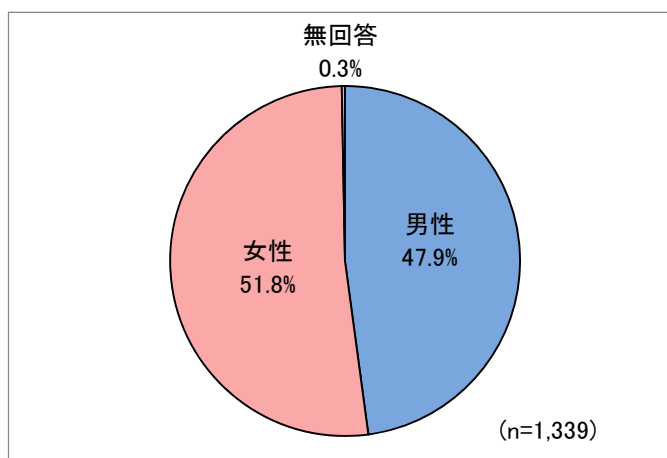
実施期間	令和3年2月25日(木)～3月11日(木)
対象者	18歳以上の村上市民
配布・回収方法	郵送配布・郵送回収及びWeb回答
配布数	3,000 通
回答数	1,339 通 (郵送:1,109件 Web:214件 HP:16件)
回収率	44.1 % (HP回答は含まず)

1. あなたご自身のことについて、おたずねします 【それぞれ1つだけ選択】

問1 性別

「男性」が約48%、「女性」が約52%とわずかに女性の方が多い。

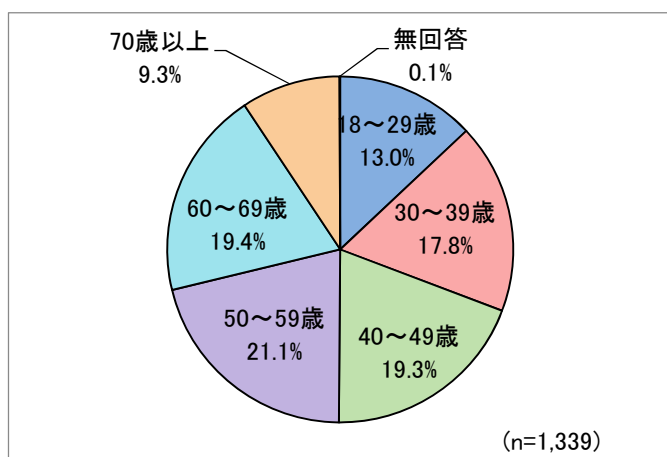
選択肢	回答数	割合
1. 男性	641	47.9%
2. 女性	694	51.8%
無回答	4	0.3%
計	1,339	100.0%



問2 年齢

「50～59歳」が約21%で最も多く、次いで「60～69歳」の約19%となっている。

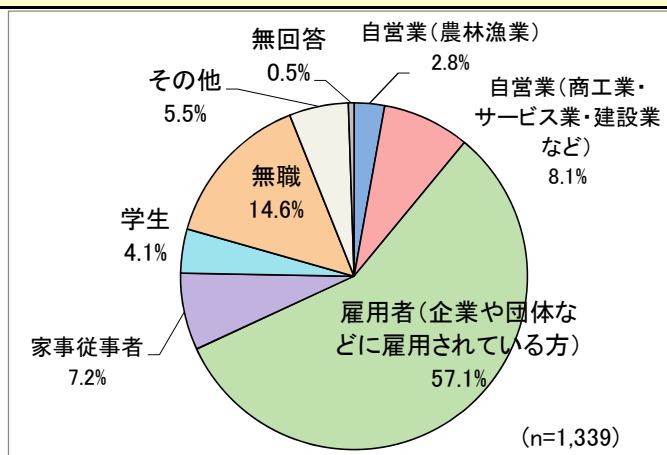
選択肢	回答数	割合
1. 18～29歳	174	13.0%
2. 30～39歳	238	17.8%
3. 40～49歳	259	19.3%
4. 50～59歳	283	21.1%
5. 60～69歳	260	19.4%
6. 70歳以上	124	9.3%
無回答	1	0.1%
計	1,339	100.0%



問3 職業

「雇用者」が約57%で最も多く、次いで「無職」の約15%となっている。

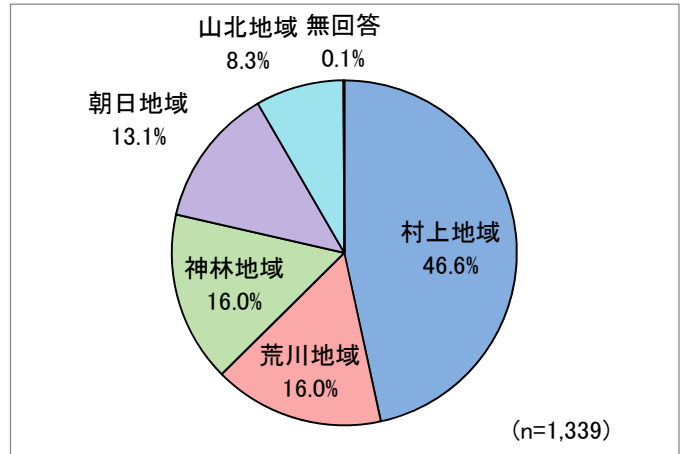
選択肢	回答数	割合
1. 自営業(農林漁業)	38	2.8%
2. 自営業(商工業・サービス業・建設業など)	109	8.1%
3. 雇用者(企業や団体などに雇用されている方)	765	57.1%
4. 家事従事者	96	7.2%
5. 学生	55	4.1%
6. 無職	195	14.6%
7. その他	74	5.5%
無回答	7	0.5%
計	1,339	100.0%



問4 居住地域

「村上地域」が約47%と多数を占め、次いで「荒川地域」と「神林地域」の約16%となっている。

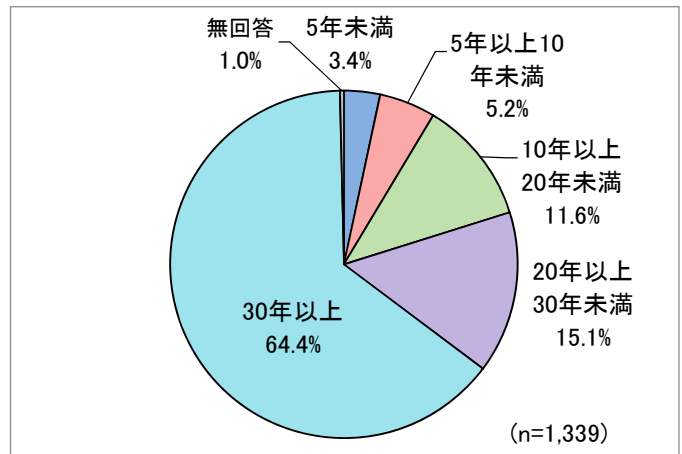
選択肢	回答数	割合
1. 村上地域	624	46.6%
2. 荒川地域	214	16.0%
3. 神林地域	214	16.0%
4. 朝日地域	175	13.1%
5. 山北地域	111	8.3%
無回答	1	0.1%
計	1,339	100.0%



問5 居住年数

「30年以上」が約64%と最も多く、次いで「20年以上30年未満」の約15%となっている。

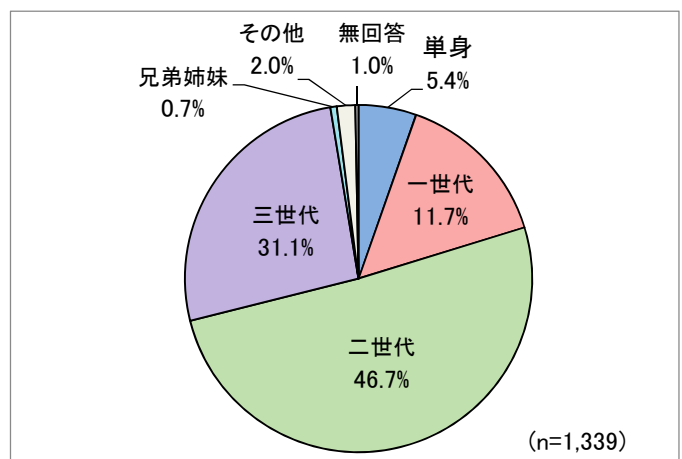
選択肢	回答数	割合
1. 5年未満	45	3.4%
2. 5年以上10年未満	70	5.2%
3. 10年以上20年未満	155	11.6%
4. 20年以上30年未満	202	15.1%
5. 30年以上	862	64.4%
無回答	5	0.4%
計	1,339	100.0%



問6 家族構成

「二世代」が約51%と最も多く、次いで「三世代」の約26%となっている。

選択肢	回答数	割合
1. 単身(ひとり暮らし)	72	5.4%
2. 一世代(夫婦のみ)	199	14.9%
3. 二世代(親と子)	681	50.9%
4. 三世代(親と子と孫)	352	26.3%
5. 兄弟姉妹	8	0.6%
6. その他	23	1.7%
無回答	4	0.3%
計	1,339	100.0%



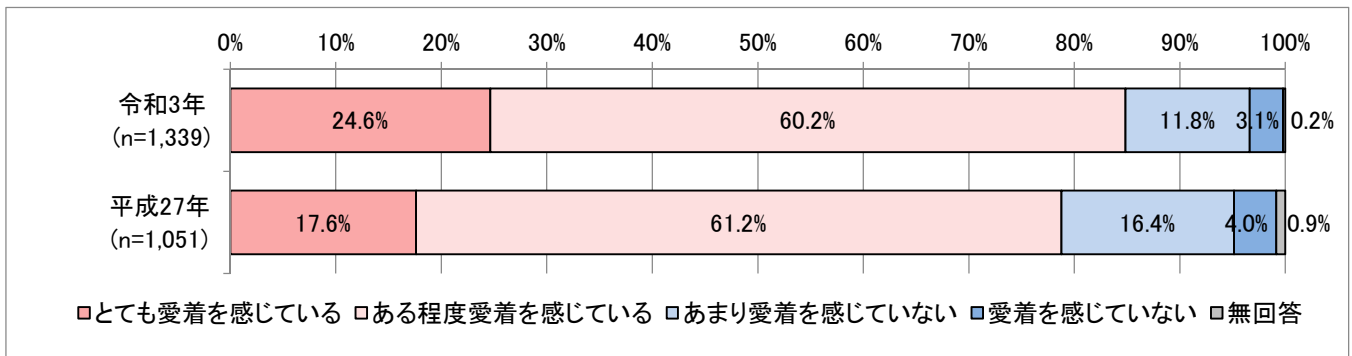
2. 村上市での住み心地について、おたずねします

問7 村上市に愛着を感じていますか 【1つだけ選択】

村上市への愛着では、「とても愛着を感じている」が約25%、「ある程度愛着を感じている」が約60%であり、これらを合わせた8割以上の方が愛着を感じている。
前回と比較すると、「とても愛着を感じている」人が増加している。

選択肢	回答数	割合
1. とても愛着を感じている ※	330	24.6%
2. ある程度愛着を感じている	806	60.2%
3. あまり愛着を感じていない	158	11.8%
4. 愛着を感じていない	42	3.1%
無回答	3	0.2%
計	1,339	100.0%

■前回との比較



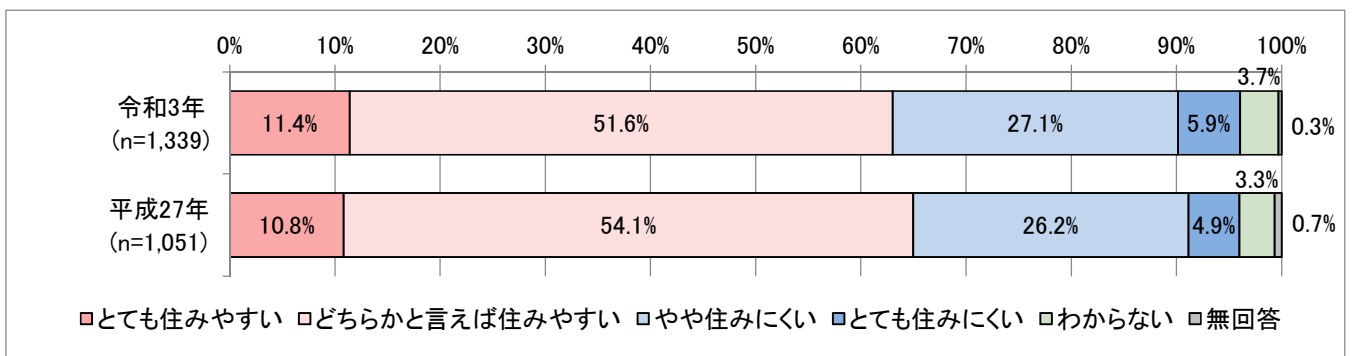
※ 平成27年の選択項目は「強い愛着を感じている」

問8 村上市は住みやすいと思いますか 【1つだけ選択】

村上市の住みやすさでは、「とても住みやすい」が約11%、「どちらかと言えば住みやすい」が約52%であり、これらを合わせた6割以上の方が住みやすいと思っている。
前回と比較して、大きな差は見られない。

選択肢	回答数	割合
1. とても住みやすい	153	11.4%
2. どちらかと言えば住みやすい	691	51.6%
3. やや住みにくい	363	27.1%
4. とても住みにくい	79	5.9%
5. わからない	49	3.7%
無回答	4	0.3%
計	1,339	100.0%

■前回との比較

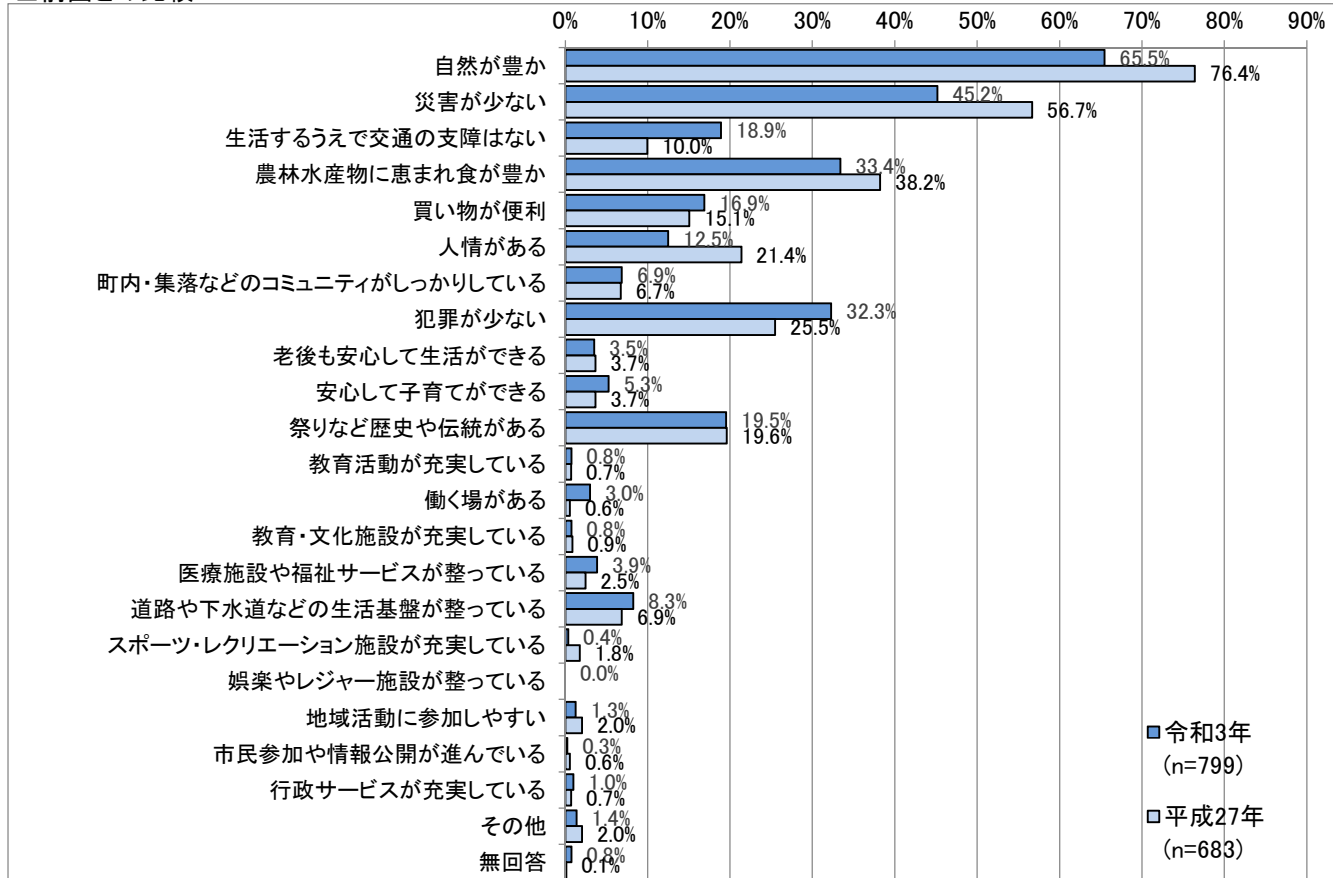


問9 住みやすいと感じる理由 【3つまで選択】 (問8で1または2を選択した方のみ)

住みやすいと感じる理由では、「自然が豊か」が最も多く約66%であり、次いで「災害が少ない」が約45%、「農林水産物に恵まれ食が豊か」が約33%である。
 前回と比較すると、上位の項目の順位は変わらないものの、「自然が豊か」や「災害が少ない」の割合が大きく減少している。

選択肢	回答数	割合
1. 自然が豊か	523	65.5%
2. 災害が少ない	361	45.2%
3. 生活するうえで交通の支障はない ※1	151	18.9%
4. 農林水産物に恵まれ食が豊か	267	33.4%
5. 買い物が便利	135	16.9%
6. 人情がある	100	12.5%
7. 町内・集落などのコミュニティがしっかりしている	55	6.9%
8. 犯罪が少ない	258	32.3%
9. 老後も安心して生活ができる	28	3.5%
10. 安心して子育てができる	42	5.3%
11. 祭りなど歴史や伝統がある	156	19.5%
12. 教育活動が充実している	6	0.8%
13. 働く場がある ※2	24	3.0%
14. 教育・文化施設が充実している	6	0.8%
15. 医療施設や福祉サービスが整っている	31	3.9%
16. 道路や下水道などの生活基盤が整っている	66	8.3%
17. スポーツ・レクリエーション施設が充実している	3	0.4%
18. 娯楽やレジャー施設が整っている	0	0.0%
19. 地域活動に参加しやすい	10	1.3%
20. 市民参加や情報公開が進んでいる	2	0.3%
21. 行政サービスが充実している	8	1.0%
22. その他	11	1.4%
無回答	6	0.8%
無効	45	

■ 前回との比較



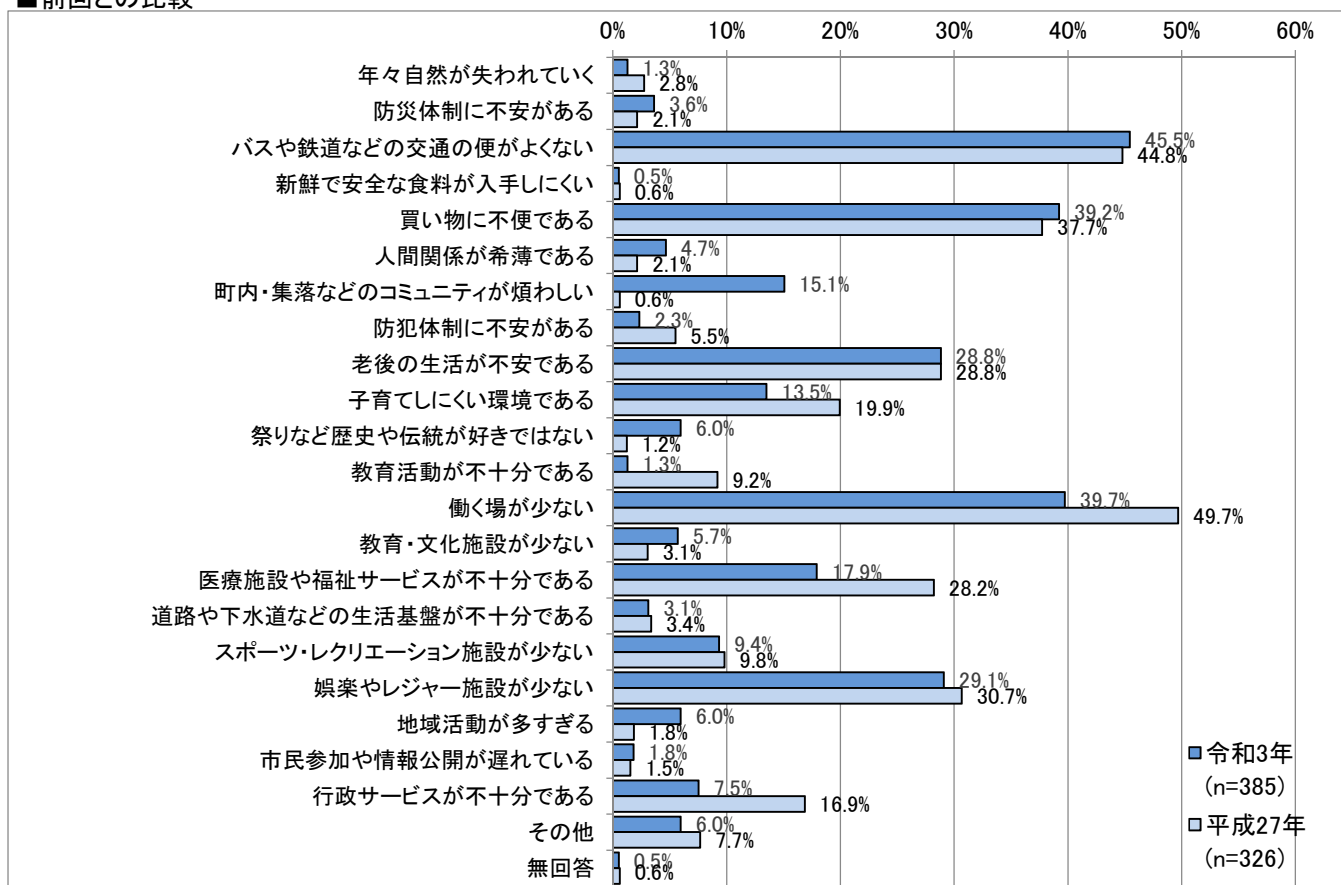
※ 平成27年の選択項目は※1「交通の便がよい」※2「働く場が豊富である」

問10 住みにくいと感ずる理由 【3つまで選択】 (問8で3または4を選択した方のみ)

住みにくいと感ずる理由では、「バスや鉄道などの交通の便がよくない」が最も多く約46%であり、次いで「働く場が少ない」が約40%、「買い物に不便である」が約39%である。
前回と比較すると、「働く場が少ない」や「医療施設や福祉サービスが不十分である」の割合が大きく減少している。

選択肢	回答数	割合
1. 年々自然が失われていく	5	1.3%
2. 防災体制に不安がある	14	3.6%
3. バスや鉄道などの交通の便がよくない	175	45.5%
4. 新鮮で安全な食料が入手しにくい	2	0.5%
5. 買い物に不便である	151	39.2%
6. 人間関係が希薄である ※1	18	4.7%
7. 町内・集落などのコミュニティが煩わしい ※2	58	15.1%
8. 防犯体制に不安がある	9	2.3%
9. 老後の生活が不安である	111	28.8%
10. 子育てしにくい環境である	52	13.5%
11. 祭りなど歴史や伝統が好きではない ※3	23	6.0%
12. 教育活動が不十分である ※4	5	1.3%
13. 働く場が少ない ※5	153	39.7%
14. 教育・文化施設が少ない ※6	22	5.7%
15. 医療施設や福祉サービスが不十分である	69	17.9%
16. 道路や下水道などの生活基盤が不十分である	12	3.1%
17. スポーツ・レクリエーション施設が少ない	36	9.4%
18. 娯楽やレジャー施設が少ない	112	29.1%
19. 地域活動が多すぎる ※7	23	6.0%
20. 市民参加や情報公開が遅れている	7	1.8%
21. 行政サービスが不十分である	29	7.5%
22. その他	23	6.0%
無回答	2	0.5%
無効	57	

■ 前回との比較



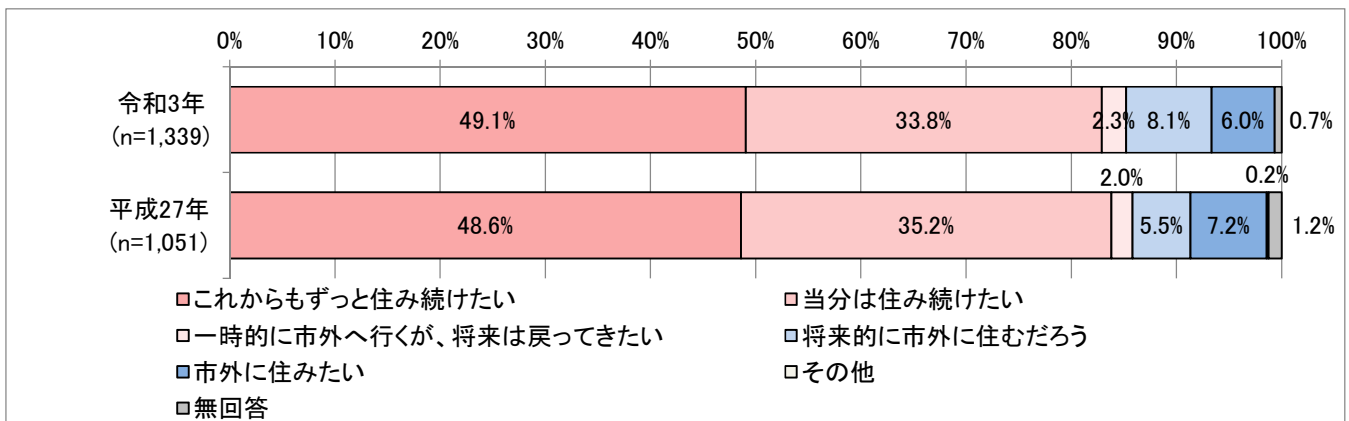
※ 平成27年の選択項目は※1「人情味をあまり感じない」※2「集落や町内会組織があまりない」※3「歴史や伝統が失われていく」※4「教育機関が不十分である」※5「魅力ある働く場が少ない」※6「文化・芸術の催しや情報が少ない」※7「地域活動に参加しにくい」

問11 これからも村上市に住み続けたいと思いますか 【1つだけ選択】

村上市への今後の居留意向では、「これからもずっと住み続けたい」が約49%、「当分は住み続けたい」が約34%であり、これらを合わせた8割以上の方が住み続けたいと思っている。前回と比較して、大きな差は見られない。

選択肢	回答数	割合
1. これからもずっと住み続けたい	657	49.1%
2. 当分は住み続けたい	453	33.8%
3. 一時的に市外へ行くが、将来は村上市に戻ってきたい	31	2.3%
4. 将来的に市外に住むだろう ※1	109	8.1%
5. 市外に住みたい	80	6.0%
6. その他 ※2	-	-
無回答	9	0.7%
計	1,339	100.0%

■前回との比較



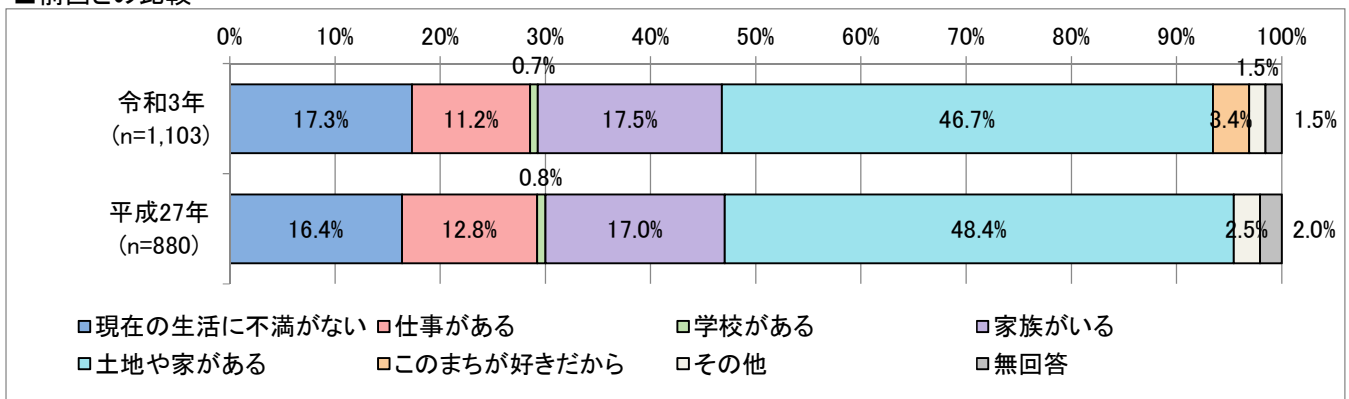
※1 平成27年の選択項目は「おそらく市外に引っ越すことになる」 ※令和3年に選択項目「その他」なし

問12 住み続けたい、戻ってきたい理由 (問11で1から3を選択した方のみ)
【1つだけ選択】

住み続けたい、戻ってきたい理由では、「土地や家がある」が最も多く約47%で約半数を占めており、次いで「家族がいる」が約18%、「現在の生活に不満がない」が約17%である。前回と比較して、大きな差は見られない。

選択肢	回答数	割合
1. 現在の生活に不満がない	191	17.3%
2. 仕事がある	124	11.2%
3. 学校がある	8	0.7%
4. 家族がいる	193	17.5%
5. 土地や家がある	515	46.7%
6. このまちが好きだから	38	3.4%
7. その他	17	1.5%
無回答	17	1.5%
計	1,103	100.0%
無効	38	

■前回との比較



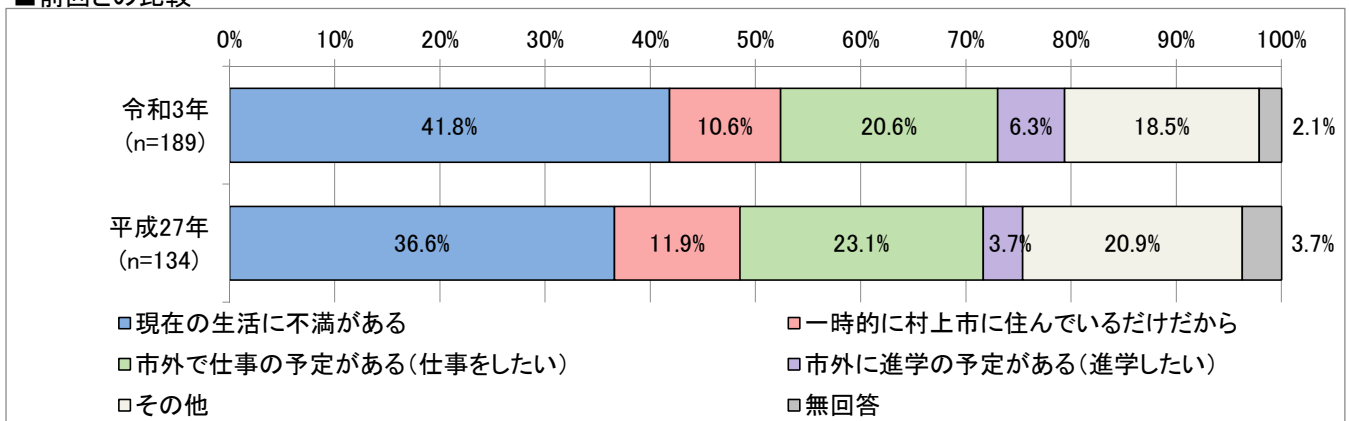
※平成27年に選択項目「このまちが好きだから」なし

問13 転出する理由 (問11で4または5を選択した方のみ)
【1つだけ選択】

転出する理由では、「現在の生活に不満がある」が最も多く約42%であり、次いで「市外で仕事の予定がある」が約21%である。
前回と比較すると、「現在の生活に不満がある」がやや増加している。

選択肢	回答数	割合
1. 現在の生活に不満がある	79	41.8%
2. 一時的に村上市に住んでいるだけだから	20	10.6%
3. 市外で仕事の予定がある(仕事をしたい)	39	20.6%
4. 市外に進学の予定がある(進学したい)	12	6.3%
5. その他	35	18.5%
無回答	4	2.1%
計	189	100.0%

■前回との比較



3. 村上市の暮らしについて、おたずねします

問14 ①満足度

村上市の暮らしで満足度が高い項目は、「水道水の安定的な供給」が最も多く約59%であり、次いで「適正な生活排水の処理推進」が約48%、「消防・救急体制の充実」が約41%、「健康の増進と医療体制の充実」が約40%、「生活衛生の向上と公害の防止」が約40%である。

満足度	満足	い ど え ち ら か と 満 足	ど ち ら だ も な い	い ど え ち ら か と 不 満	不 満	無 回 答
1 健康の増進と医療体制の充実	104	436	544	173	56	26
2 子育て環境の充実	65	334	587	227	76	50
3 高齢者の健康と安心な暮らしづくり	77	339	642	191	59	31
4 障がい者福祉の推進と自立支援体制づくり	57	232	829	129	39	53
5 総合的な福祉の推進	50	232	807	159	45	46
6 環境の保全と新エネルギーの推進	44	190	857	142	48	58
7 生活衛生の向上と公害の防止	94	436	651	101	18	39
8 適正な生活排水の処理推進	195	452	570	66	21	35
9 水道水の安定的な供給	297	490	478	32	11	31
10 河川・排水路の整備	129	397	654	101	18	40
11 港の整備と賑わいづくり	60	233	894	79	25	48
12 地域の暮らしと活性化を担う道づくり	102	403	491	224	81	38
13 生活交通の確保・充実	55	171	563	350	169	31
14 市街地と景観の整備・保全	85	283	727	147	55	42
15 良好な住環境の整備	45	140	731	295	96	32
16 経営の安定化と魅力ある農業づくり	35	177	762	251	65	49
17 森林資源の保全と有効活用の推進	37	155	872	174	51	50
18 水産業の活性化と消費拡大の推進	43	162	913	126	36	59
19 商工業の活性化と市街地の賑わいづくり	45	153	669	301	116	55
20 観光誘客活動の展開とおもてなしの環境づくり	61	223	679	228	96	52
21 就労環境の整備と雇用機会の充実	31	130	604	351	166	57
22 消防・救急体制の充実	142	407	614	102	29	45
23 防災体制の充実	118	381	661	103	24	52
24 防犯体制の充実と交通安全対策の推進	82	324	665	168	51	49
25 “郷育”の推進と学習環境の整備	87	286	737	133	40	56
26 生涯を通じた学習の推進	60	218	864	111	32	54
27 文化財の保存活用と芸術・文化の振興	63	236	897	73	13	57
28 生涯スポーツと競技スポーツの推進	48	193	867	129	49	53
29 平等社会と多文化共生の推進	63	183	873	118	49	53
30 市民協働のまちづくりの推進	61	217	868	104	39	50
31 広報広聴事業の推進	140	357	700	71	25	46
32 ICT・情報化の整備推進	78	228	809	115	50	59
33 行財政改革の推進	45	155	838	169	77	55
34 広域行政の推進	49	145	950	111	34	50

□満足 □どちらかといえば満足 □どちらでもない □どちらかといえば不満 □不満 □無回答

満足度	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
1 健康の増進と医療体制の充実 (生活習慣病予防、健康診断、自殺予防対策等)	7.8%	32.6%	40.6%	12.9%	4.2%	1.9%	
2 子育て環境の充実 (育児や健康の相談支援、保育環境の整備等)	4.9%	24.9%	43.8%	17.0%	5.7%	3.7%	
3 高齢者の健康と安心な暮らしづくり (認知症対策、健康寿命の延伸、介護サービスの充実等)	5.8%	25.3%	47.9%	14.3%	4.4%	2.3%	
4 障がい者福祉の推進と自立支援体制づくり (障がい者の福祉サービスと自立への支援等)	4.3%	17.3%	61.9%	9.6%	2.9%	4.0%	
5 総合的な福祉の推進 (福祉総合相談、生活困窮者の支援等)	3.7%	17.3%	60.3%	11.9%	3.4%	3.4%	
6 環境の保全と新エネルギーの推進 (環境問題の意識啓発、新・省エネルギーの普及促進等)	3.3%	14.2%	64.0%	10.6%	3.6%	4.3%	
7 生活衛生の向上と公害の防止 (ごみ減量化、公害防止、火葬場・墓地の管理等)	7.0%	32.6%	48.6%	7.5%	1.3%	2.9%	
8 適正な生活排水の処理推進 (下水道事業、合併浄化槽による生活排水対策等)	14.6%	33.8%	42.6%	4.9%	1.6%	2.6%	
9 水道水の安定的な供給 (水道事業の安定経営、施設の耐震化等)	22.2%	36.6%	35.7%	2.4%	0.8%	2.3%	
10 河川・排水路の整備 (良好な河川環境づくりと維持管理等)	9.6%	29.6%	48.8%	7.5%	1.3%	3.0%	
11 港の整備と賑わいづくり (港湾の整備促進、港を通じた活性化等)	4.5%	17.4%	66.8%	5.9%	1.9%	3.6%	
12 地域の暮らしと活性化を担う道づくり (高速道路の整備促進、生活道路や通学路の整備等)	7.6%	30.1%	36.7%	16.7%	6.0%	2.8%	
13 生活交通の確保・充実 (バスなどによる公共交通体制の整備等)	4.1%	12.8%	42.0%	26.1%	12.6%	2.3%	
14 市街地と景観の整備・保全 (まちなみ整備、都市計画道路の整備等)	6.3%	21.1%	54.3%	11.0%	4.1%	3.1%	
15 良好な住環境の整備 (公営住宅の整備、木造住宅の耐震化、空き家対策等)	3.4%	10.5%	54.6%	22.0%	7.2%	2.4%	
16 経営の安定化と魅力ある農業づくり (担い手の育成、食や農業の活性化、有害鳥獣対策等)	2.6%	13.2%	56.9%	18.7%	4.9%	3.7%	
17 森林資源の保全と有効活用の推進 (担い手の育成、市産材の利用促進、森林や林道の整備等)	2.8%	11.6%	65.1%	13.0%	3.8%	3.7%	
18 水産業の活性化と消費拡大の推進 (担い手の育成、漁港の整備、水産物の消費拡大等)	3.2%	12.1%	68.2%	9.4%	2.7%	4.4%	
19 商工業の活性化と市街地の賑わいづくり (商業の活性化、中小企業支援、企業誘致等)	3.4%	11.4%	50.0%	22.5%	8.7%	4.1%	
20 観光誘客活動の展開とおもてなしの環境づくり (観光情報の発信、観光施設の整備・活用等)	4.6%	16.7%	50.7%	17.0%	7.2%	3.9%	
21 就労環境の整備と雇用機会の充実 (雇用確保の支援、ワークライフバランスの推進等)	2.3%	9.7%	45.1%	26.2%	12.4%	4.3%	
22 消防・救急体制の充実 (くらしの安全対策、消防体制の整備、救急救命士の養成等)	10.6%	30.4%	45.9%	7.6%	2.2%	3.4%	
23 防災体制の充実 (防災情報の周知、自主防災組織の強化、防災教育の充実等)	8.8%	28.5%	49.4%	7.7%	1.8%	3.9%	
24 防犯体制の充実と交通安全対策の推進 (LED灯の設置、特殊詐欺等の被害防止、交通安全の啓発等)	6.1%	24.2%	49.7%	12.5%	3.8%	3.7%	
25 “郷育”の推進と学習環境の整備 (小中学校の運営、学校の施設整備等)	6.5%	21.4%	55.0%	9.9%	3.0%	4.2%	
26 生涯を通じた学習の推進 (各種講座の実施、家庭教育支援、生涯学習環境の充実等)	4.5%	16.3%	64.5%	8.3%	2.4%	4.0%	
27 文化財の保存活用と芸術・文化の振興 (史跡調査、歴史文化芸術の振興等)	4.7%	17.6%	67.0%	5.5%	1.0%	4.3%	
28 生涯スポーツと競技スポーツの推進 (スポーツ人口の拡大、スポーツ活動の環境整備等)	3.6%	14.4%	64.7%	9.6%	3.7%	4.0%	
29 平等社会と多文化共生の推進 (人権尊重・男女平等・多文化共生の推進等)	4.7%	13.7%	65.2%	8.8%	3.7%	4.0%	
30 市民協働のまちづくりの推進 (まち協活動・地域おこし協力隊・移住定住の推進等)	4.6%	16.2%	64.8%	7.8%	2.9%	3.7%	
31 広報広聴事業の推進 (市報むらかみの発行、ホームページの運営等)	10.5%	26.7%	52.3%	5.3%	1.9%	3.4%	
32 ICT・情報化の整備推進 (告知端末などの情報通信設備によるサービス提供等)	5.8%	17.0%	60.4%	8.6%	3.7%	4.4%	
33 行財政改革の推進 (歳入の安定化、公有財産・公共施設の適正管理等)	3.4%	11.6%	62.6%	12.6%	5.8%	4.1%	
34 広域行政の推進 (定住自立圏事業の推進、近隣市町村との連携等)	3.7%	10.8%	70.9%	8.3%	2.5%	3.7%	

問14 ②重要度

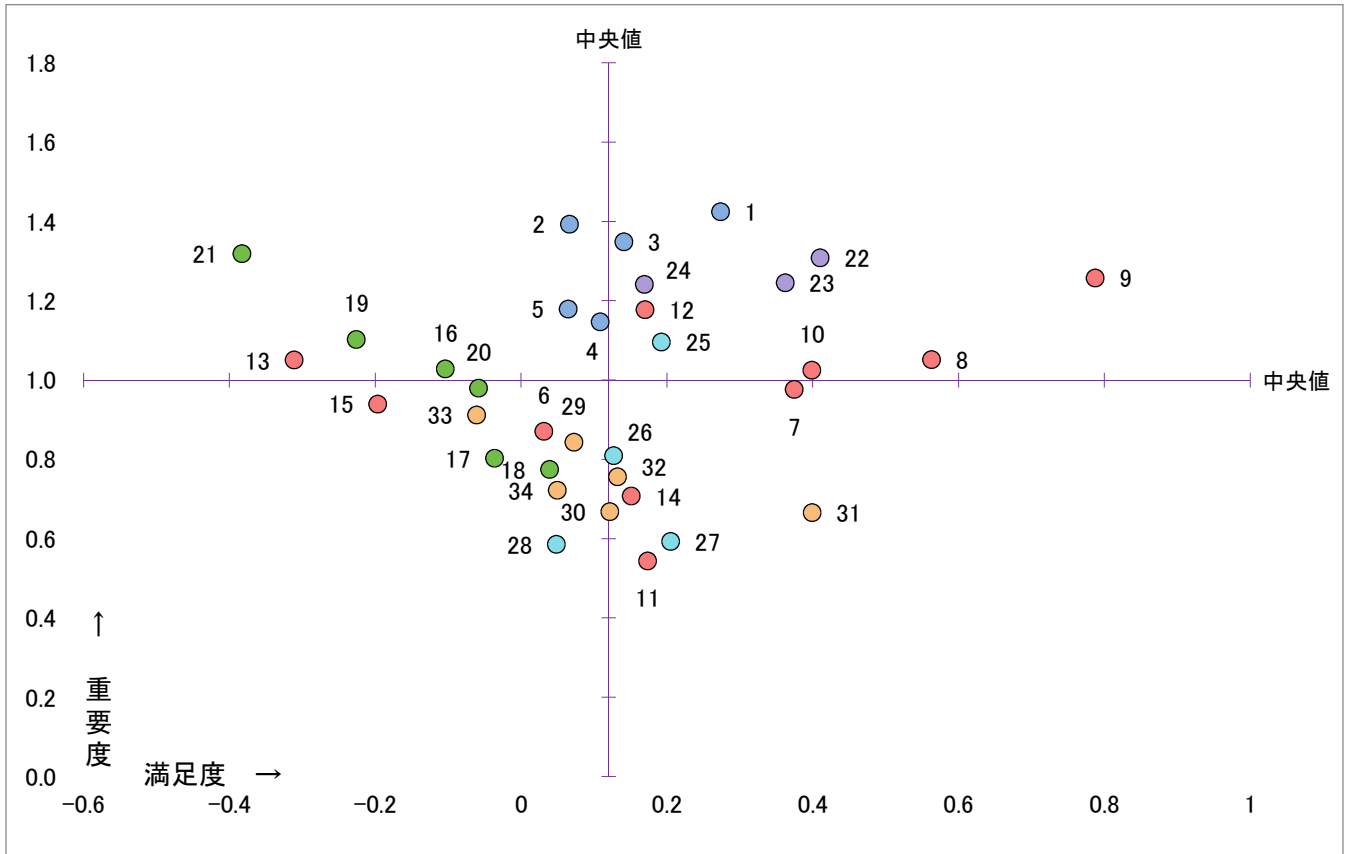
村上市の暮らしで重要度が高い項目は、「健康の増進と医療体制の充実」が最も多く約84%であり、次いで「高齢者の健康と安心な暮らしづくり」が約81%、「子育て環境の充実」が約78%、「就労環境の整備と雇用機会の充実」が約77%、「水道水の安定的な供給」が約75%である。

重要度	重要	やや重要	どちらでもない	重要あまりでない	重要でない	無回答
1 健康の増進と医療体制の充実	724	400	143	12	4	56
2 子育て環境の充実	726	320	207	8	2	76
3 高齢者の健康と安心な暮らしづくり	692	386	172	20	11	58
4 障がい者福祉の推進と自立支援体制づくり	538	413	293	20	6	69
5 総合的な福祉の推進	565	406	283	16	7	62
6 環境の保全と新エネルギーの推進	358	450	402	42	12	75
7 生活衛生の向上と公害の防止	390	497	362	23	4	63
8 適正な生活排水の処理推進	446	478	329	18	5	63
9 水道水の安定的な供給	616	393	254	12	3	61
10 河川・排水路の整備	440	462	343	21	8	65
11 港の整備と賑わいづくり	227	351	587	70	25	79
12 地域の暮らしと活性化を担う道づくり	544	446	252	23	7	67
13 生活交通の確保・充実	465	469	294	37	11	63
14 市街地と景観の整備・保全	294	421	465	69	21	69
15 良好な住環境の整備	388	483	365	34	11	58
16 経営の安定化と魅力ある農業づくり	448	439	357	22	4	69
17 森林資源の保全と有効活用の推進	311	445	476	31	8	68
18 水産業の活性化と消費拡大の推進	289	440	505	24	7	74
19 商工業の活性化と市街地の賑わいづくり	476	464	308	15	3	73
20 観光誘客活動の展開とおもてなしの環境づくり	417	466	339	28	16	73
21 就労環境の整備と雇用機会の充実	659	365	230	10	2	73
22 消防・救急体制の充実	672	333	253	12	1	68
23 防災体制の充実	615	361	283	9	1	70
24 防犯体制の充実と交通安全対策の推進	594	398	254	15	2	76
25 “郷育”の推進と学習環境の整備	506	391	352	9	5	76
26 生涯を通じた学習の推進	324	441	444	38	15	77
27 文化財の保存活用と芸術・文化の振興	241	375	565	53	28	77
28 生涯スポーツと競技スポーツの推進	228	405	539	66	27	74
29 平等社会と多文化共生の推進	346	420	453	29	11	80
30 市民協働のまちづくりの推進	272	405	504	59	23	76
31 広報広聴事業の推進	264	412	516	53	22	72
32 ICT・情報化の整備推進	304	407	500	33	15	80
33 行財政改革の推進	399	376	471	14	4	75
34 広域行政の推進	276	404	551	23	10	75

□重要 □やや重要 □どちらでもない □あまり重要でない □重要でない □無回答

重要度	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1 健康の増進と医療体制の充実 (生活習慣病予防、健康診断、自殺予防対策等)		54.1%		29.9%	10.7%	4.2%
2 子育て環境の充実 (育児や健康の相談支援、保育環境の整備等)		54.2%		23.9%	15.5%	5.7%
3 高齢者の健康と安心な暮らしづくり (認知症対策、健康寿命の延伸、介護サービスの充実等)		51.7%		28.8%	12.8%	4.3%
4 障がい者福祉の推進と自立支援体制づくり (障がい者の福祉サービスと自立への支援等)		40.2%		30.8%	21.9%	5.2%
5 総合的な福祉の推進 (福祉総合相談、生活困窮者の支援等)		42.2%		30.3%	21.1%	4.6%
6 環境の保全と新エネルギーの推進 (環境問題の意識啓発、新・省エネルギーの普及促進等)		26.7%	33.6%	30.0%	3.1%	5.6%
7 生活衛生の向上と公害の防止 (ごみ減量化、公害防止、火葬場・墓地の管理等)		29.1%		37.1%	27.0%	4.7%
8 適正な生活排水の処理推進 (下水道事業、合併浄化槽による生活排水対策等)		33.3%		35.7%	24.6%	4.7%
9 水道水の安定的な供給 (水道事業の安定経営、施設の耐震化等)		46.0%		29.4%	19.0%	4.6%
10 河川・排水路の整備 (良好な河川環境づくりと維持管理等)		32.9%		34.5%	25.6%	4.9%
11 港の整備と賑わいづくり (港湾の整備促進、港を通じた活性化等)	17.0%		26.2%	43.8%	5.2%	5.9%
12 地域の暮らしと活性化を担う道づくり (高速道路の整備促進、生活道路や通学路の整備等)		40.6%		33.3%	18.8%	5.0%
13 生活交通の確保・充実 (バスなどによる公共交通体制の整備等)		34.7%		35.0%	22.0%	4.7%
14 市街地と景観の整備・保全 (まちなみ整備、都市計画道路の整備等)		22.0%		31.4%	34.7%	5.2%
15 良好な住環境の整備 (公営住宅の整備、木造住宅の耐震化、空き家対策等)		29.0%		36.1%	27.3%	4.3%
16 経営の安定化と魅力ある農業づくり (担い手の育成、食や農業の活性化、有害鳥獣対策等)		33.5%		32.8%	26.7%	5.2%
17 森林資源の保全と有効活用の推進 (担い手の育成、市産材の利用促進、森林や林道の整備等)		23.2%		33.2%	35.5%	5.1%
18 水産業の活性化と消費拡大の推進 (担い手の育成、漁港の整備、水産物の消費拡大等)		21.6%		32.9%	37.7%	5.5%
19 商工業の活性化と市街地の賑わいづくり (商業の活性化、中小企業支援、企業誘致等)		35.5%		34.7%	23.0%	5.5%
20 観光誘客活動の展開とおもてなしの環境づくり (観光情報の発信、観光施設の整備・活用等)		31.1%		34.8%	25.3%	5.5%
21 就労環境の整備と雇用機会の充実 (雇用確保の支援、ワークライフバランスの推進等)		49.2%		27.3%	17.2%	5.5%
22 消防・救急体制の充実 (くらしの安全対策、消防体制の整備、救急救命士の養成等)		50.2%		24.9%	18.9%	5.1%
23 防災体制の充実 (防災情報の周知、自主防災組織の強化、防災教育の充実等)		45.9%		27.0%	21.1%	5.2%
24 防犯体制の充実と交通安全対策の推進 (LED灯の設置、特殊詐欺等の被害防止、交通安全の啓発等)		44.4%		29.7%	19.0%	5.7%
25 “郷育”の推進と学習環境の整備 (小中学校の運営、学校の施設整備等)		37.8%		29.2%	26.3%	5.7%
26 生涯を通じた学習の推進 (各種講座の実施、家庭教育支援、生涯学習環境の充実等)		24.2%		32.9%	33.2%	5.8%
27 文化財の保存活用と芸術・文化の振興 (史跡調査、歴史文化芸術の振興等)		18.0%		28.0%	42.2%	5.8%
28 生涯スポーツと競技スポーツの推進 (スポーツ人口の拡大、スポーツ活動の環境整備等)		17.0%		30.2%	40.3%	5.5%
29 平等社会と多文化共生の推進 (人権尊重・男女平等・多文化共生の推進等)		25.8%		31.4%	33.8%	6.0%
30 市民協働のまちづくりの推進 (まち協活動・地域おこし協力隊・移住定住の推進等)		20.3%		30.2%	37.6%	5.7%
31 広報広聴事業の推進 (市報むらかみの発行、ホームページの運営等)		19.7%		30.8%	38.5%	5.4%
32 ICT・情報化の整備推進 (告知端末などの情報通信設備によるサービス提供等)		22.7%		30.4%	37.3%	6.0%
33 行財政改革の推進 (歳入の安定化、公有財産・公共施設の適正管理等)		29.8%		28.1%	35.2%	5.6%
34 広域行政の推進 (定住自立圏事業の推進、近隣市町村との連携等)		20.6%		30.2%	41.2%	5.6%

■満足度と重要度のクロス集計



- 1 健康の増進と医療体制の充実
- 2 子育て環境の充実
- 3 高齢者の健康と安心な暮らしづくり
- 4 障がい者福祉の推進と自立支援体制づくり
- 5 総合的な福祉の推進
- 6 環境の保全と新エネルギーの推進
- 7 生活衛生の向上と公害の防止
- 8 適正な生活排水の処理推進
- 9 水道水の安定的な供給
- 10 河川・排水路の整備
- 11 港の整備と賑わいづくり
- 12 地域の暮らしと活性化を担う道づくり
- 13 生活交通の確保・充実
- 14 市街地と景観の整備・保全
- 15 良好な住環境の整備

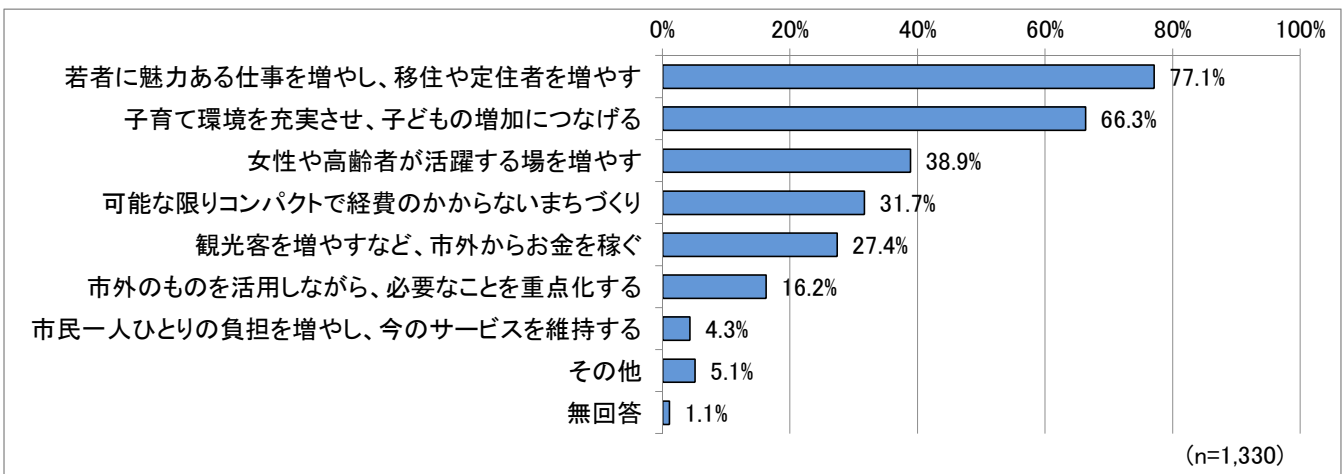
- 16 経営の安定化と魅力ある農業づくり
- 17 森林資源の保全と有効活用の推進
- 18 水産業の活性化と消費拡大の推進
- 19 商工業の活性化と市街地の賑わいづくり
- 20 観光誘客活動の展開とおもてなしの環境づくり
- 21 就労環境の整備と雇用機会の充実
- 22 消防・救急体制の充実
- 23 防災体制の充実
- 24 防犯体制の充実と交通安全対策の推進
- 25 “郷育”の推進と学習環境の整備
- 26 生涯を通じた学習の推進
- 27 文化財の保存活用と芸術・文化の振興
- 28 生涯スポーツと競技スポーツの推進
- 29 平等社会と多文化共生の推進
- 30 市民協働のまちづくりの推進
- 31 広報広聴事業の推進
- 32 ICT・情報化の整備推進
- 33 行財政改革の推進
- 34 広域行政の推進

4. 今後のまちづくりについて、おたずねします

問15 将来人口予測を踏まえて、今後、どのようなことが必要だと思いますか
【3つまで選択】

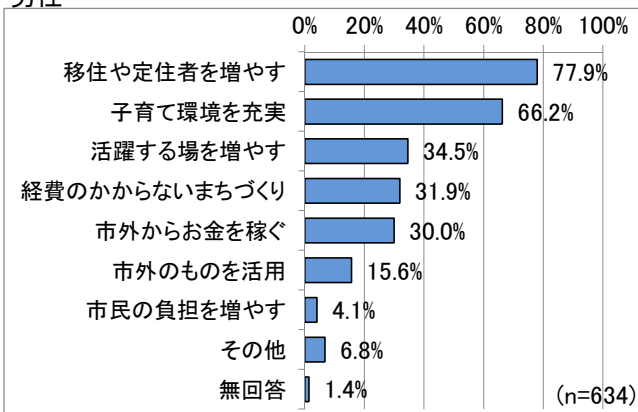
今後のまちづくりに必要なことでは、「若者に魅力ある仕事を増やし、移住や定住者を増やす」が最も多く約77%であり、次いで「子育て環境を充実させ、子どもの増加につなげる」が約66%、「女性や高齢者が活躍する場を増やす」が約39%である。
年齢別では、「18～29歳」、「30～39歳」で「子育て環境を充実させ、子どもの増加につなげる」が特に多い。

選択肢	回答数	割合
1. 若者に魅力ある仕事を増やし、移住や定住者を増やす	1,025	77.1%
2. 子育て環境を充実させ、子どもの増加につなげる	882	66.3%
3. 女性や高齢者が活躍する場を増やす	517	38.9%
4. 可能な限りコンパクトで経費のかからないまちづくり	421	31.7%
5. 観光客を増やすなど、市外からお金を稼ぐ	364	27.4%
6. 大規模な機能は市外のものを活用しながら、日常の必要なことを重点化する	216	16.2%
7. 市民一人ひとりの負担を増やし、今のサービスを維持する	57	4.3%
8. その他	68	5.1%
無回答	14	1.1%
無効	9	

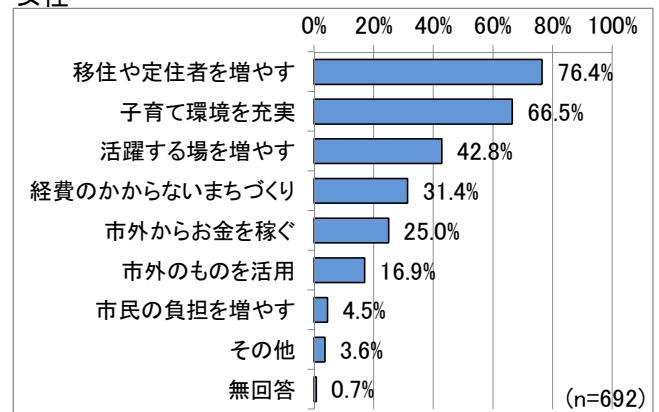


■性別

男性

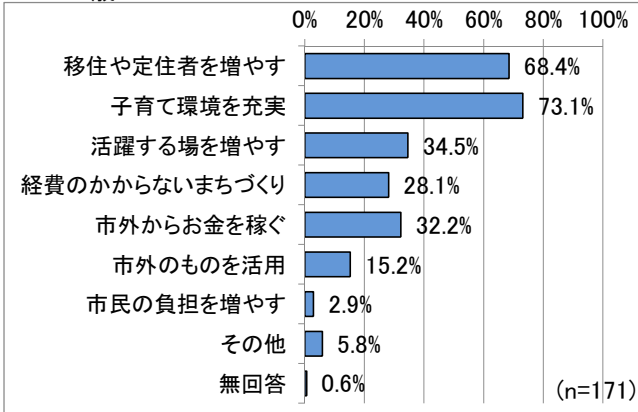


女性

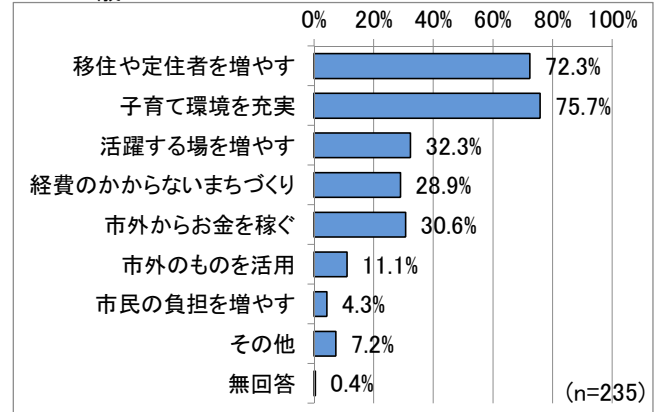


■ 年齢別

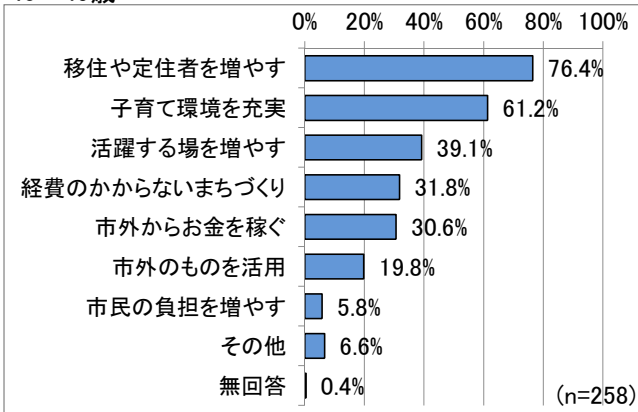
18～29歳



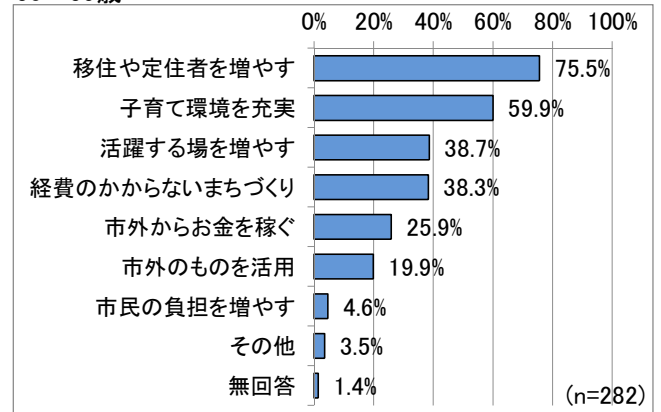
30～39歳



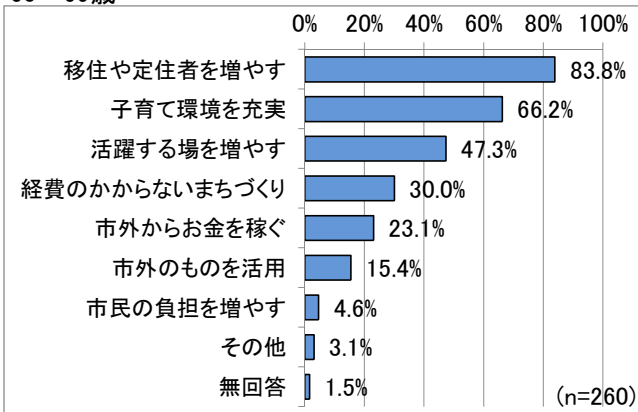
40～49歳



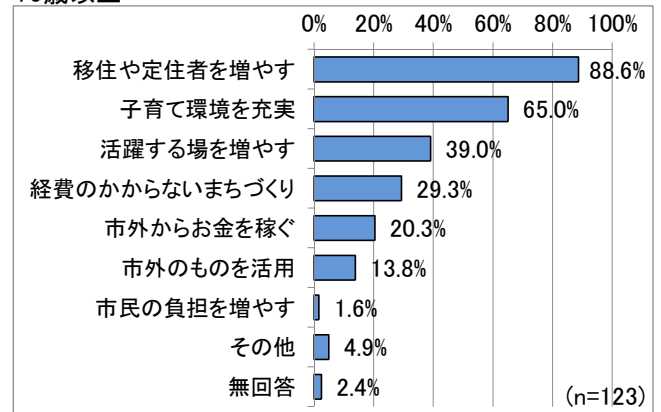
50～59歳



60～69歳

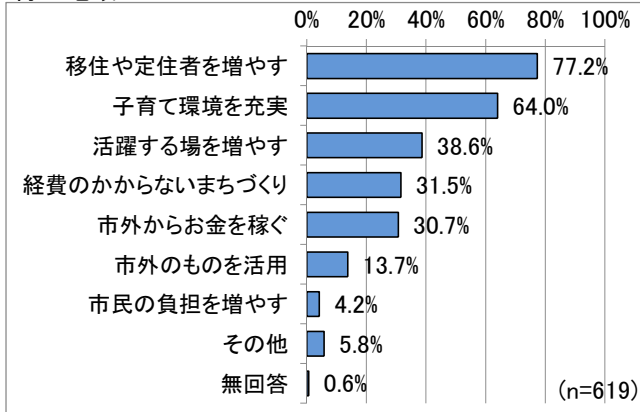


70歳以上

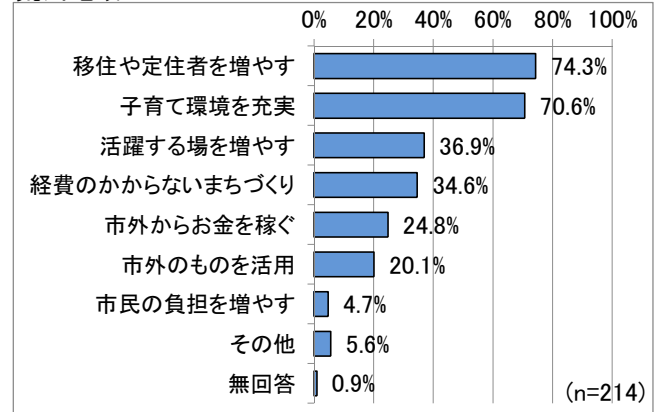


■地域別

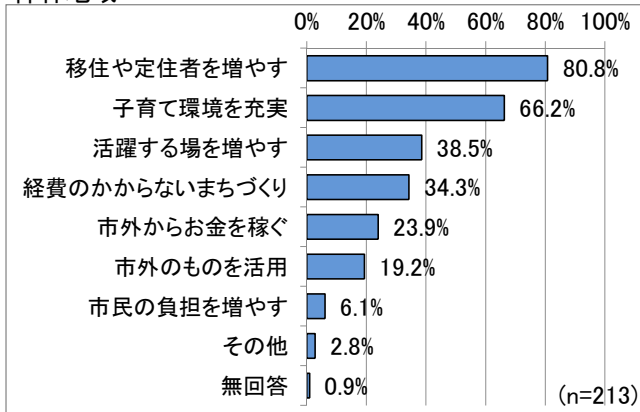
村上地域



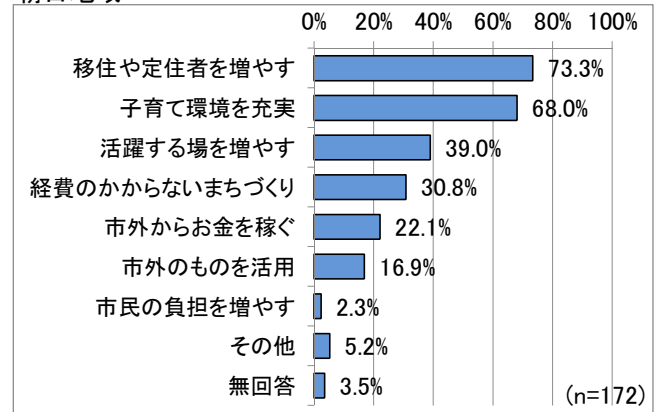
荒川地域



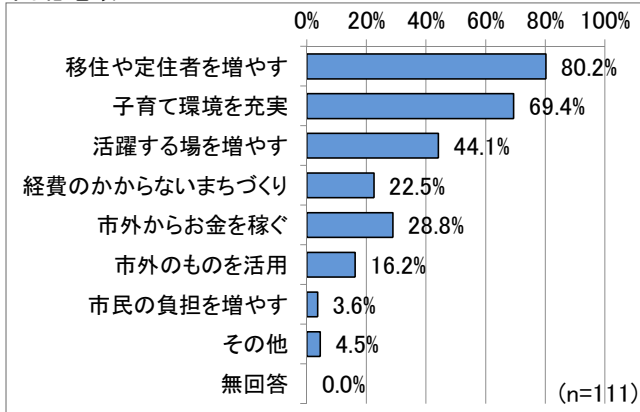
神林地域



朝日地域



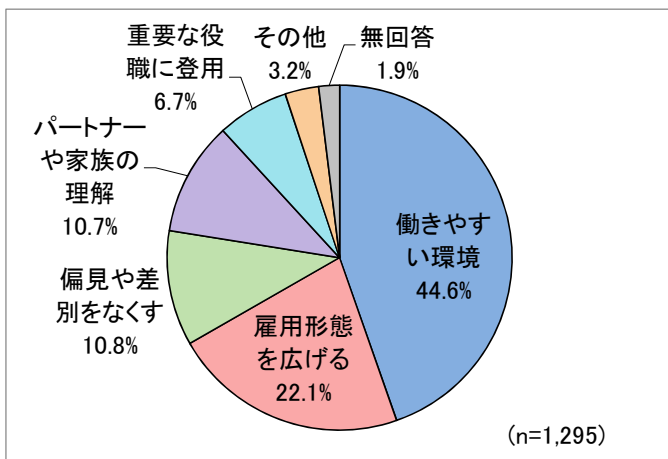
山北地域



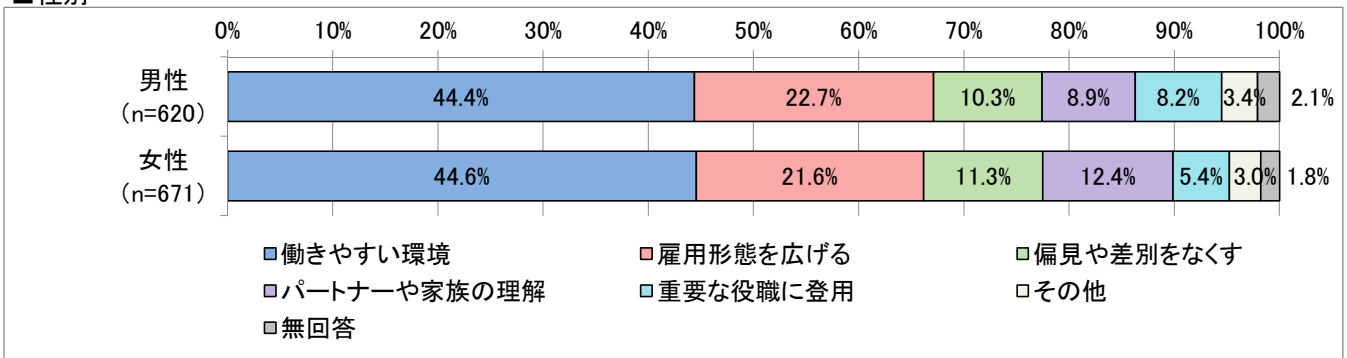
問16 働く人が減少する中、女性の活躍・社会進出をさらに進めるためには
何が重要だと思いますか【1つだけ選択】

女性の活躍・社会進出を進めるために重要なことでは、「子どもの保育や一時預かりなど、女性が働きやすい環境を整える」が最も多く約45%であり、次いで「出産・子育て後に再就職できるような雇用形態を広げる」が約22%、「女性に対するあらゆる偏見や差別をなくす」が約11%である。
年齢別では、いずれの年代も「子どもの保育や一時預かりなど、女性が働きやすい環境を整える」が最も多く、若い年代ほどより多い傾向にあり、「18～29歳」では半数を超えている。

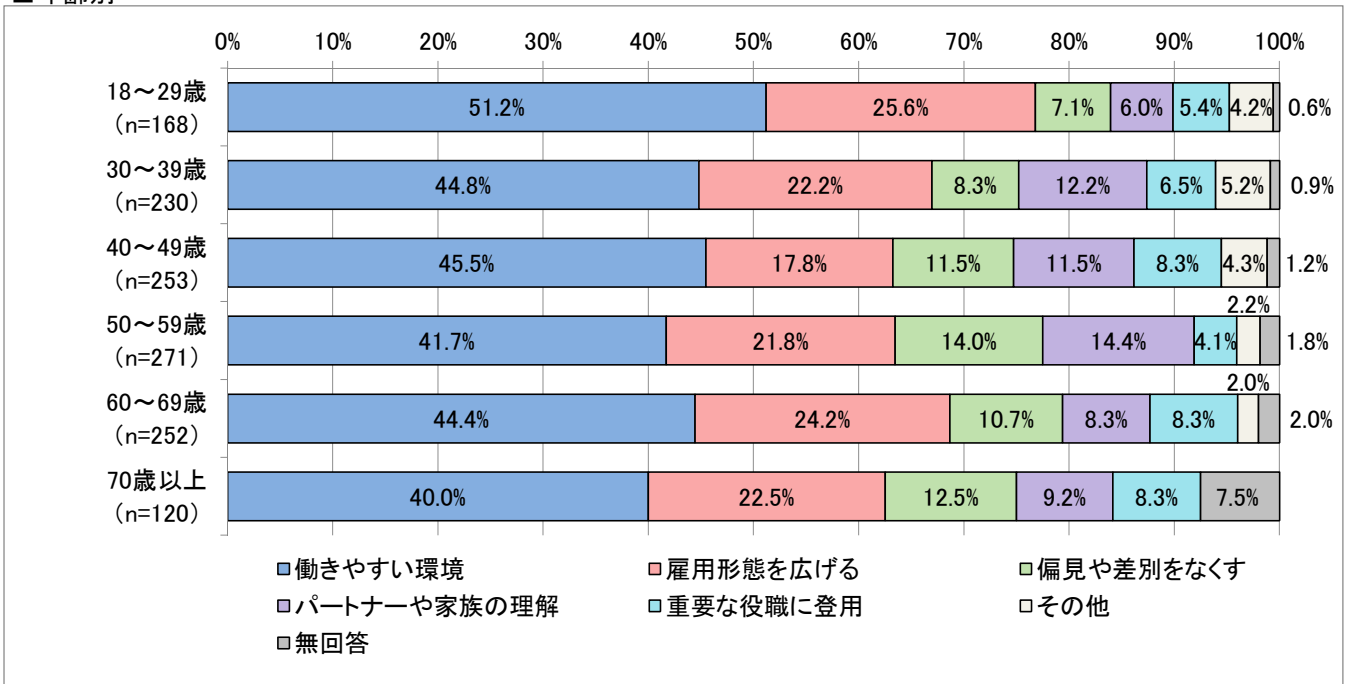
選択肢	回答数	割合
1. 子どもの保育や一時預かりなど、女性が働きやすい環境を整える	578	44.6%
2. 出産・子育て後に再就職できるような雇用形態を広げる	286	22.1%
3. 女性に対するあらゆる偏見や差別をなくす	140	10.8%
4. パートナーや家族の理解が得られる	138	10.7%
5. 職場や地域で女性を重要な役職に登用する、または男性と同様に役割を与える	87	6.7%
6. その他	41	3.2%
無回答	25	1.9%
計	1,295	100.0%
無効	44	



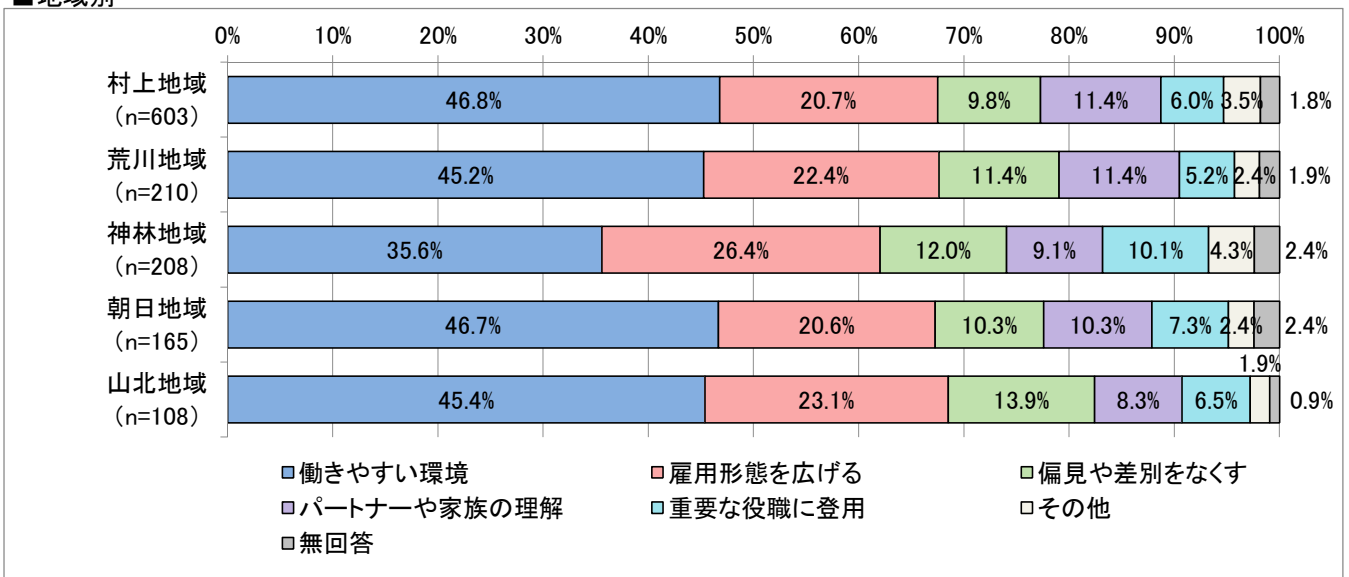
■性別



■ 年齢別



■ 地域別

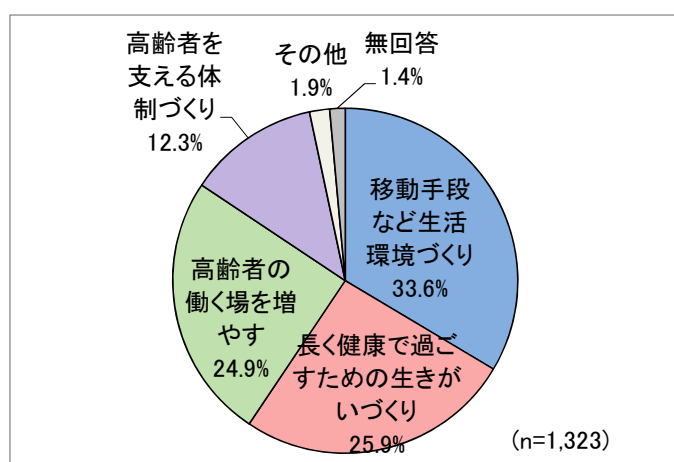


問17 高齢者（65歳以上）の多様な働き方や社会との関わりが必要とされていますが、あなたはどのようなことが重要だと思いますか【1つだけ選択】

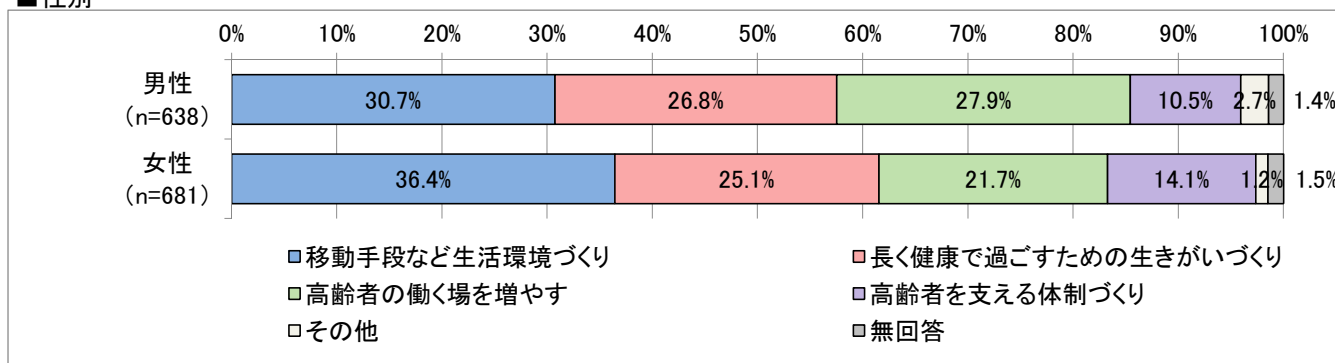
高齢者の社会との関わりで重要なことでは、「移動手段が確保されるなど高齢者の生活環境づくり」が最も多く約34%であり、次いで「長く健康で過ごすための生きがいづくり」が約26%、「高齢者の働く場を増やす」が約25%である。

年齢別では、「60～69歳」、「70歳以上」で「長く健康で過ごすための生きがいづくり」が比較的多く、地域別では、「朝日地域」、「山北地域」で「移動手段が確保されるなど高齢者の生活環境づくり」が比較的多い傾向にある。

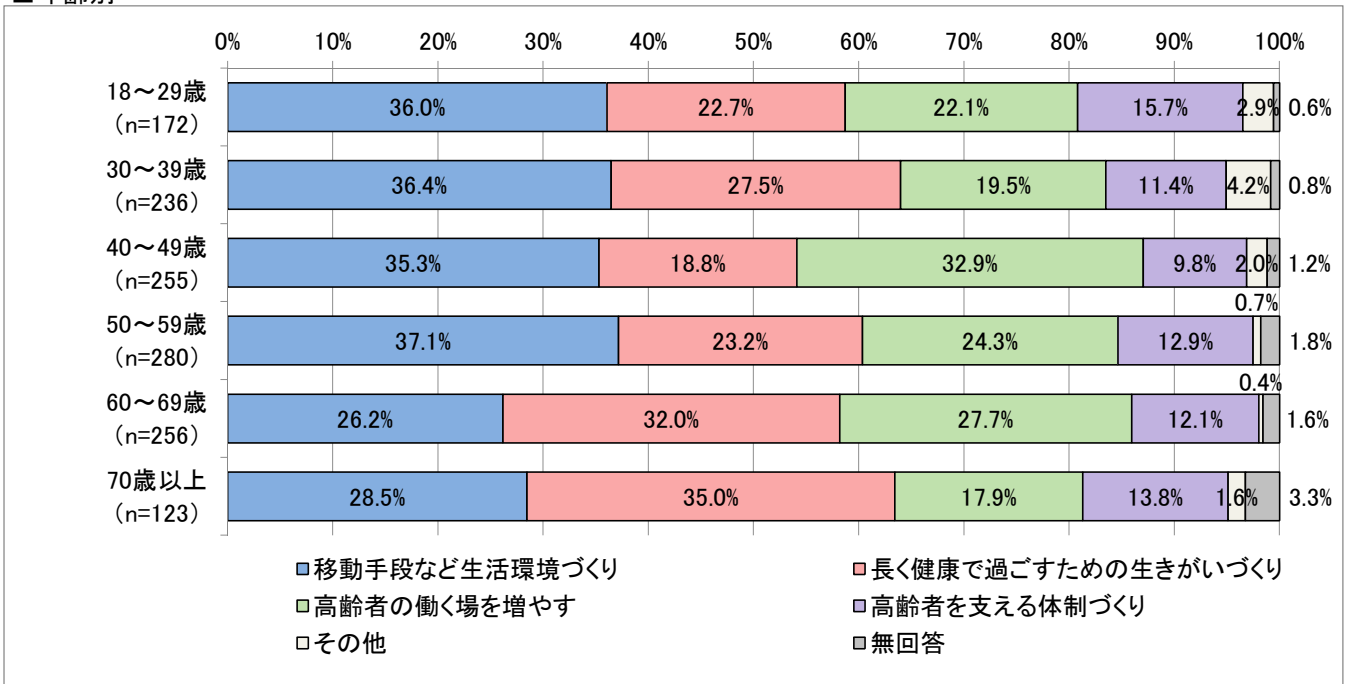
選択肢	回答数	割合
1. 移動手段が確保されるなど高齢者の生活環境づくり	444	33.6%
2. 長く健康で過ごすための生きがいづくり	342	25.9%
3. 高齢者の働く場を増やす	330	24.9%
4. 身近なコミュニティなどで高齢者を支える体制づくり	163	12.3%
5. その他	25	1.9%
無回答	19	1.4%
計	1,323	100.0%
無効	16	



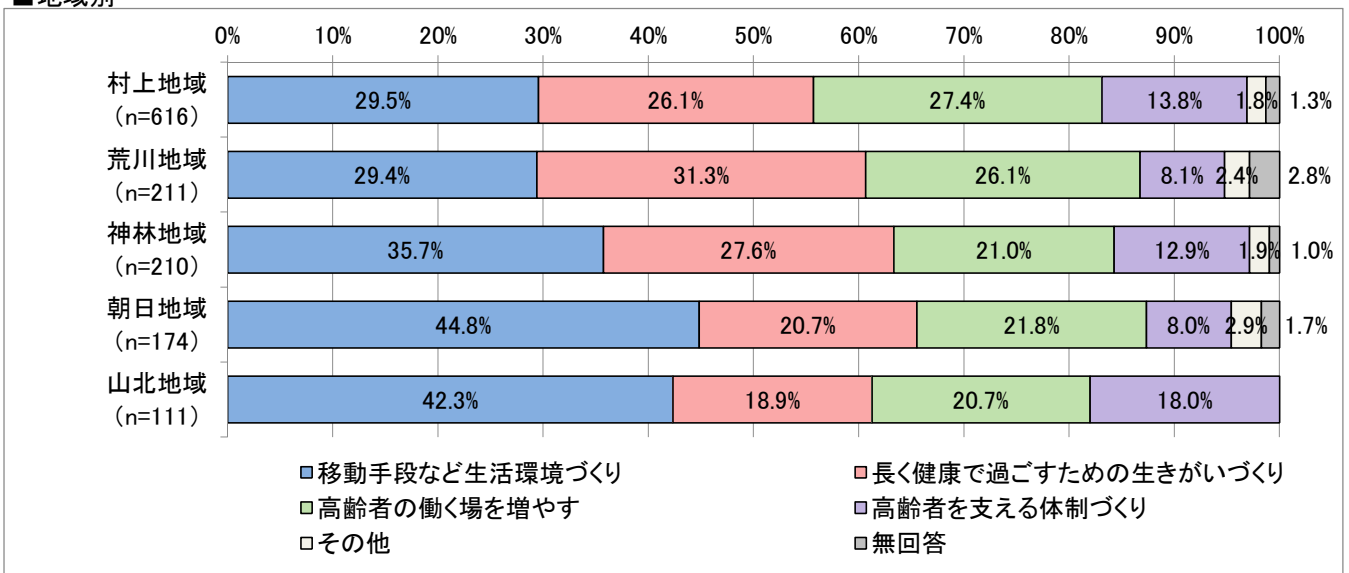
■性別



■年齢別



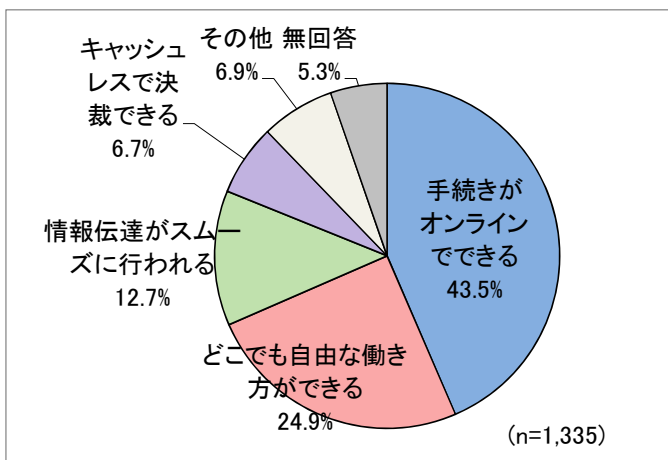
■地域別



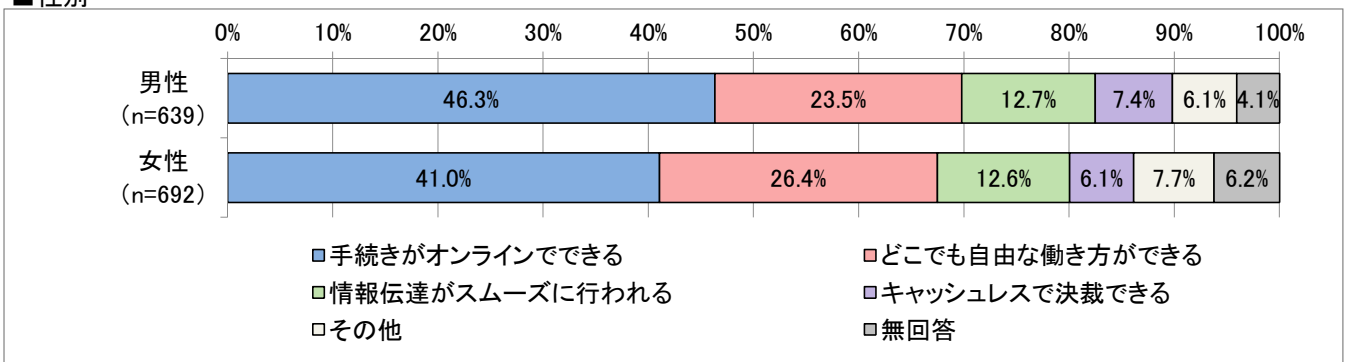
問18 私たちの生活においてデジタル化はどのように進めるべきか
【1つだけ選択】

デジタル化で進めるべきことでは、「スマートフォンなどにより、様々な手続きがオンラインでできる」が最も多く約44%であり、次いで「デジタル技術で働き方が変わり、どこでも自由な働き方ができる」が約25%、「SNSなどにより情報伝達がスムーズに行われる」が約13%である。
年齢別では、「70歳以上」で「スマートフォンなどにより、様々な手続きがオンラインでできる」や「デジタル技術で働き方が変わり、どこでも自由な働き方ができる」が特に少ない傾向にある。

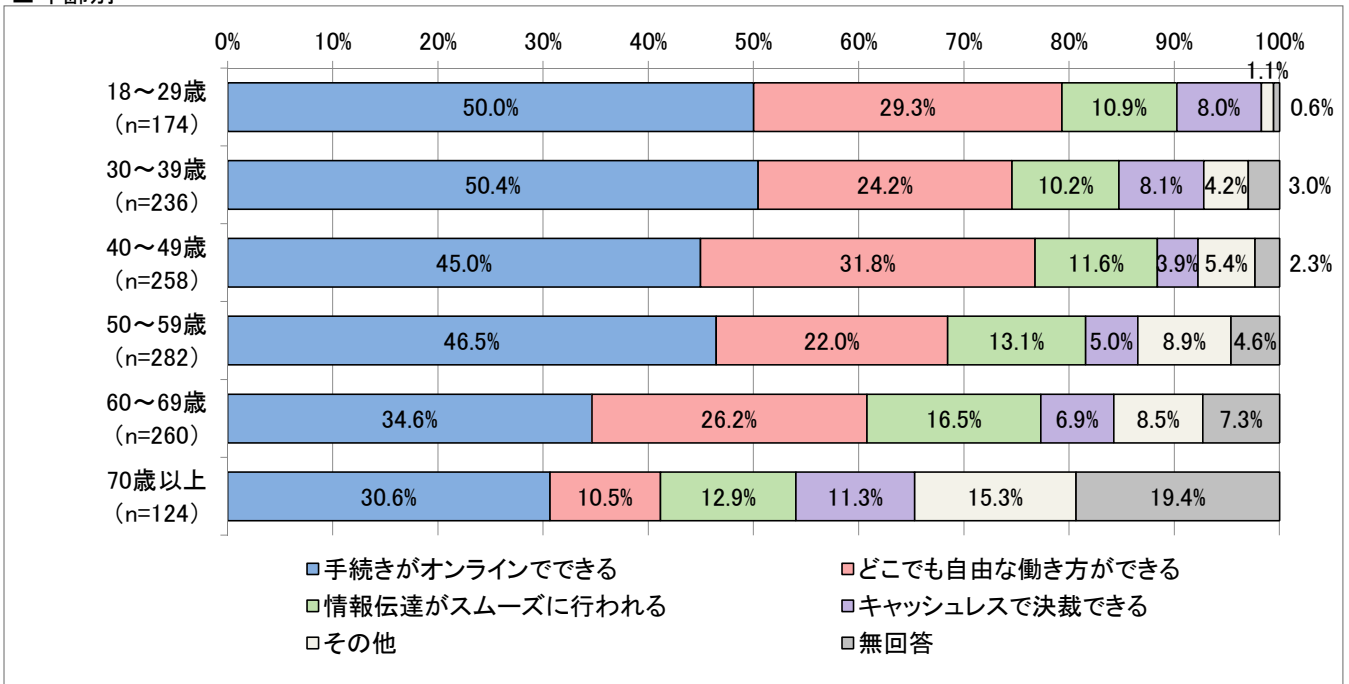
選択肢	回答数	割合
1. スマートフォンなどにより、様々な手続きがオンラインでできる	581	43.5%
2. デジタル技術で働き方が変わり、どこでも自由な働き方ができる	333	24.9%
3. SNSなどにより情報伝達がスムーズに行われる	169	12.7%
4. 店頭や通信販売での買い物がキャッシュレスで決裁できる	89	6.7%
5. その他	92	6.9%
無回答	71	5.3%
計	1,335	100.0%
無効	4	



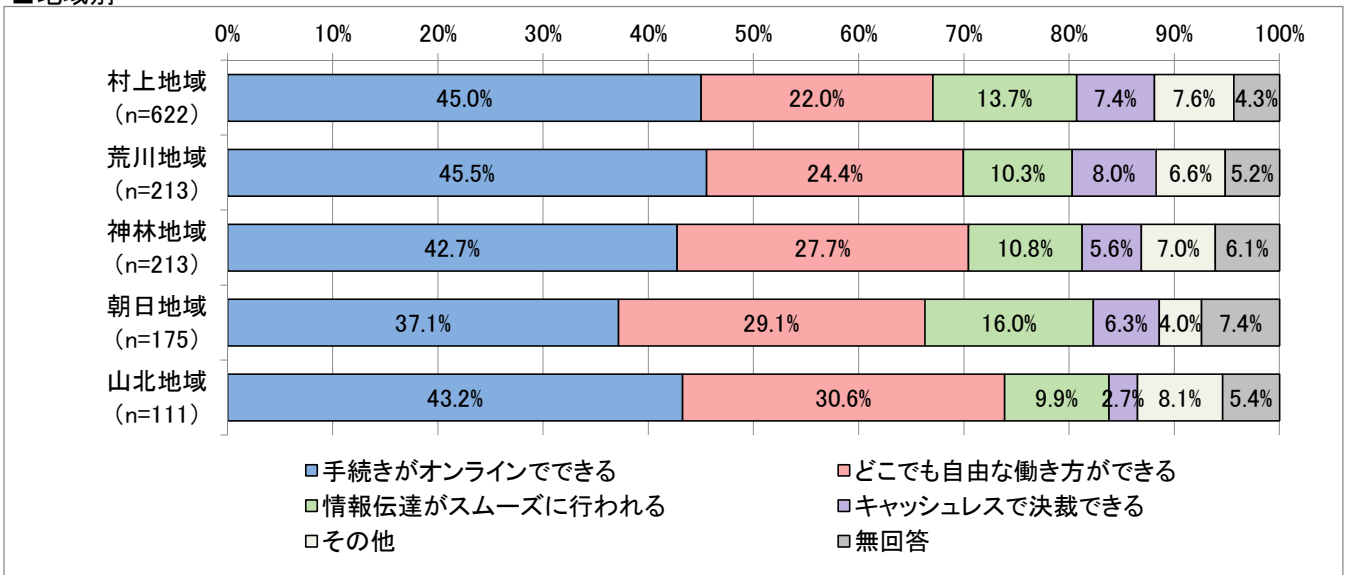
■性別



■年齢別



■地域別



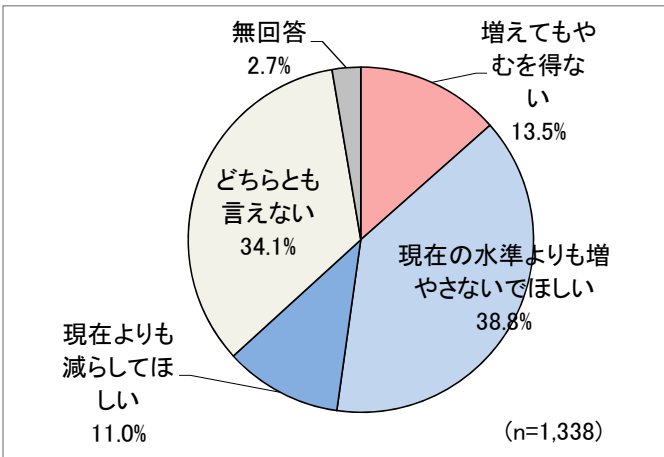
5. 行政との関わりについて、おたずねします

問19 行政サービスと市民の皆さんの負担（費用・労力）のあり方について 【1つだけ選択】

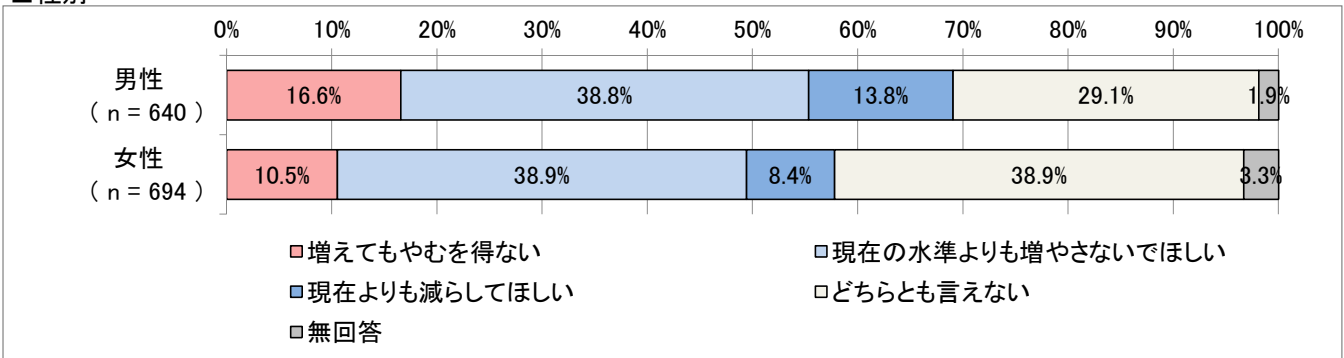
行政サービスと市民の負担のあり方では、「多少、行政サービスが低下しても構わないので、市民の負担は現在の水準よりも増やさないでほしい」が最も多く約39%であり、「行政サービスが低下しても構わないので、市民の負担を現在よりも減らしてほしい」を合わせると、約半数の人が市民の負担を現在よりも増やさないでほしいと思っている。

年齢別では、60歳までは年代が上がるほど負担を現在よりも「減らしてほしい」「増やさないでほしい」が少なくなる傾向にある一方で、「60～69歳」では最も多くなっている。

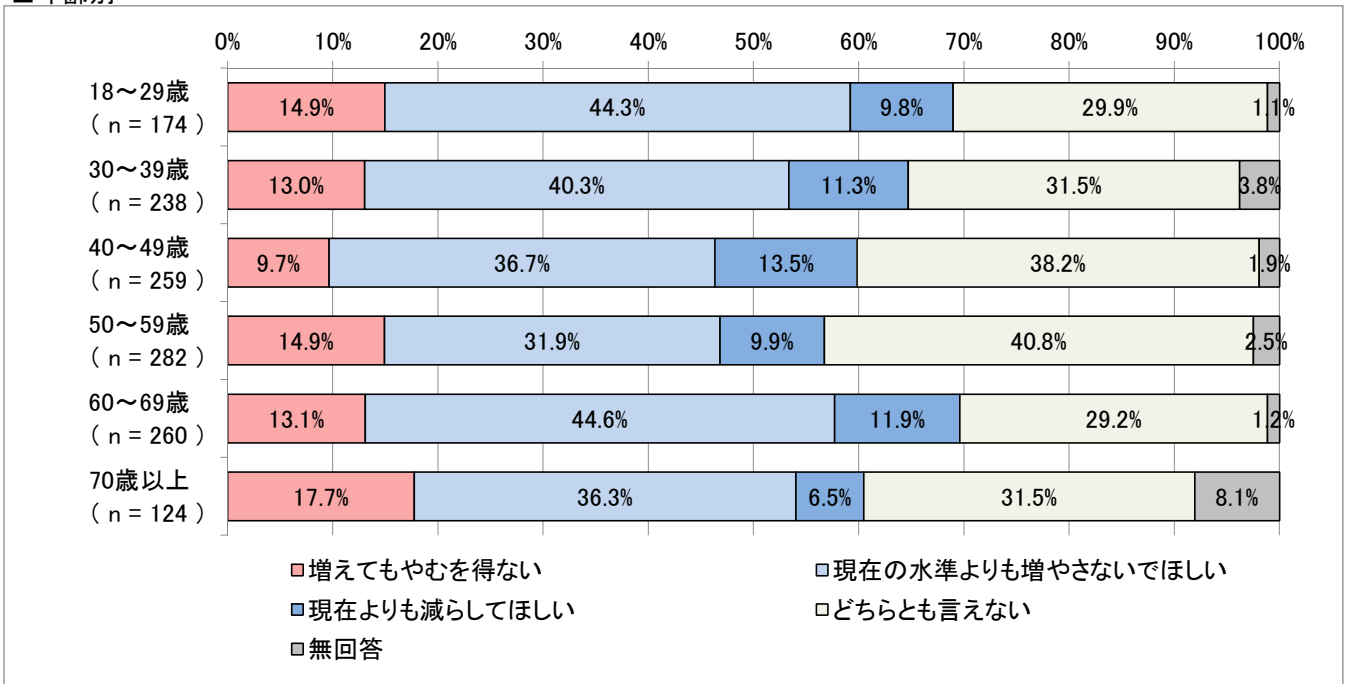
選択肢	回答数	割合
1. 現在の行政サービスを維持してほしいので、市民の負担が増えてもやむを得ない	180	13.5%
2. 多少、行政サービスが低下しても構わないので、市民の負担は現在の水準よりも増やさないでほしい	519	38.8%
3. 行政サービスが低下しても構わないので、市民の負担を現在よりも減らしてほしい	147	11.0%
4. どちらとも言えない	456	34.1%
5. 無回答	36	2.7%
計	1,338	100.0%
無効	1	



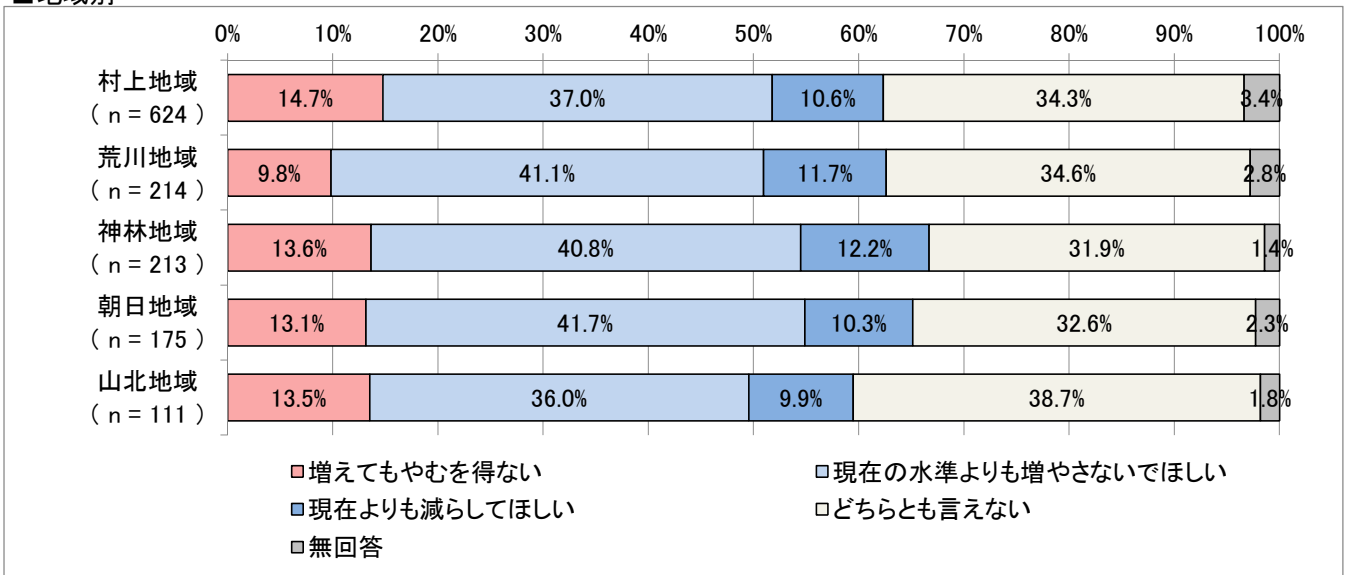
■性別



■ 年齢別



■ 地域別

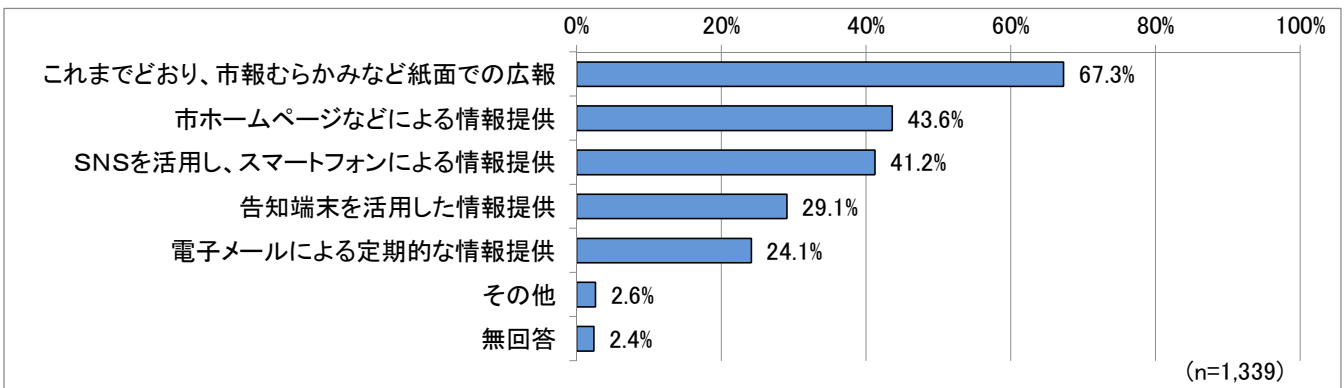


問20 行政情報の発信手段を、今後どのようにすべきと思いますか
【3つまで選択】

行政情報の発信手段では、「これまでどおり、市報むらかみなど紙面での広報」が最も多く約67%であり、次いで「市ホームページなどによる情報提供」が約44%、「SNSを活用し、スマートフォンによる情報提供」が約41%である。

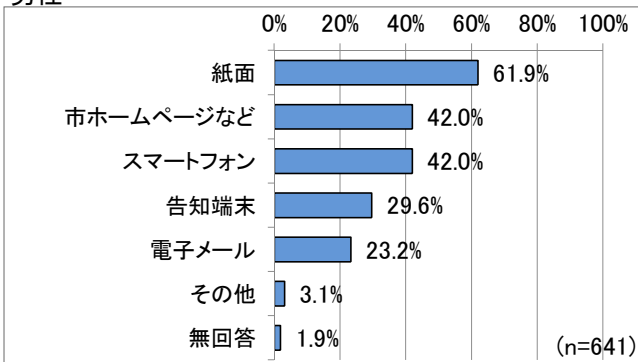
年齢別では、若い世代ほど「SNSを活用し、スマートフォンによる情報提供」が多い傾向にあり、「18～29歳」では最も多い。また、地域別では、「神林地域」、「朝日地域」、「山北地域」で「告知端末を活用した情報提供」が特に多い傾向にある。

選択肢	回答数	割合
1. これまでどおり、市報むらかみなど紙面での広報	901	67.3%
2. 市ホームページなどによる情報提供	584	43.6%
3. SNS (LINE、Twitter、Facebookなど)を活用し、スマートフォンによる情報提供	552	41.2%
4. 告知端末を活用した情報提供	389	29.1%
5. 電子メールによる定期的な情報提供	323	24.1%
6. その他	35	2.6%
無回答	32	2.4%

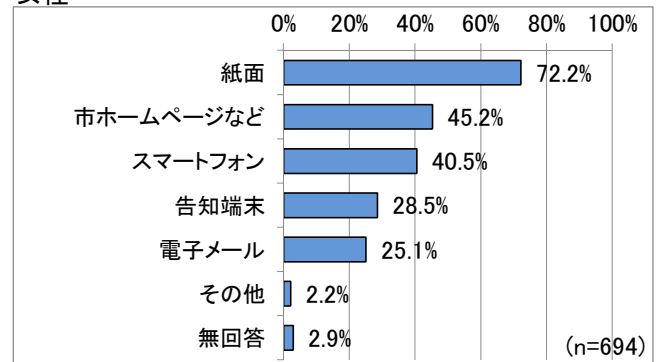


■性別

男性

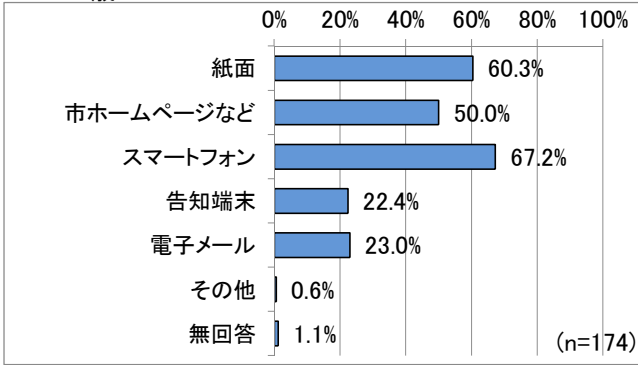


女性

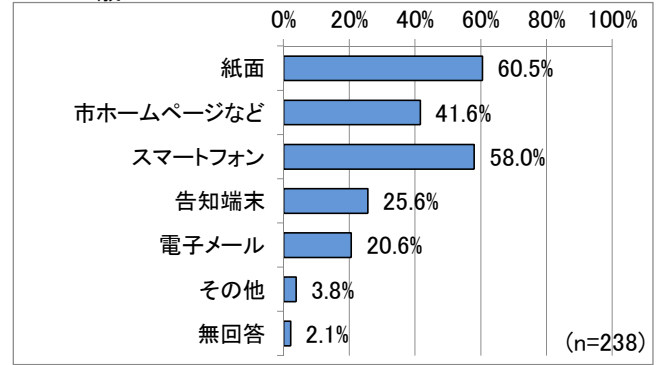


■ 年齢別

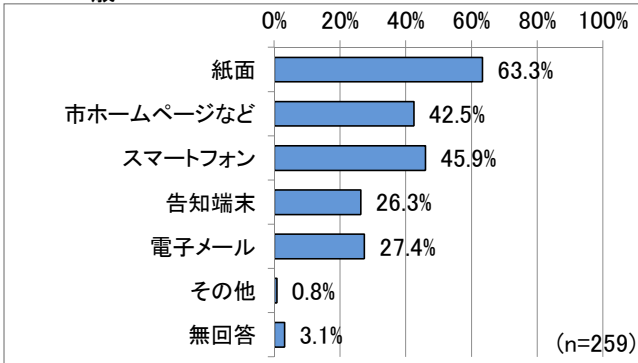
18～29歳



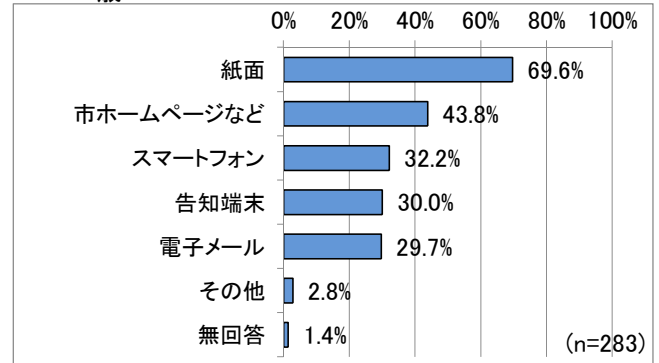
30～39歳



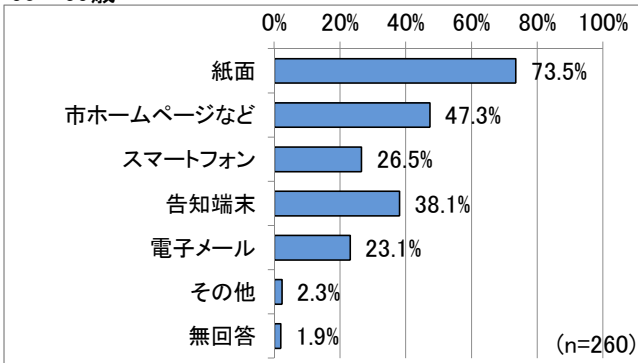
40～49歳



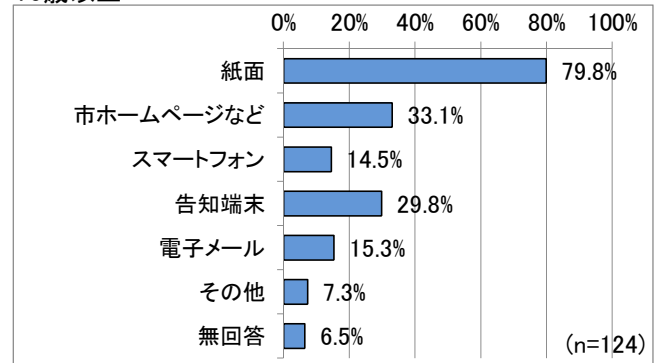
50～59歳



60～69歳

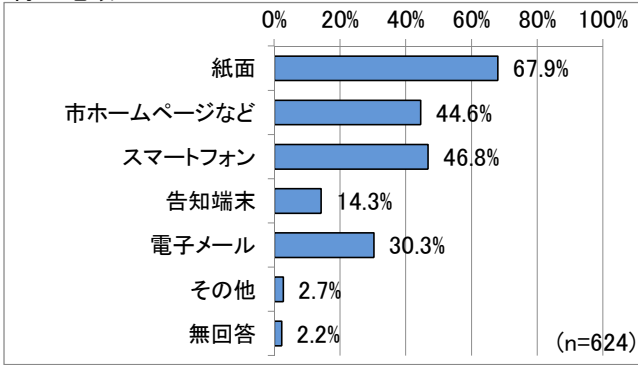


70歳以上

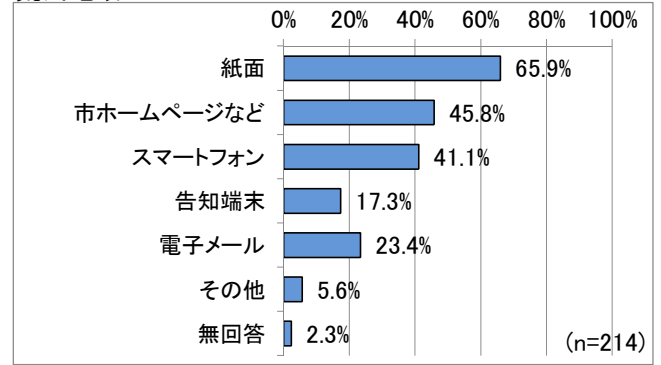


■地域別

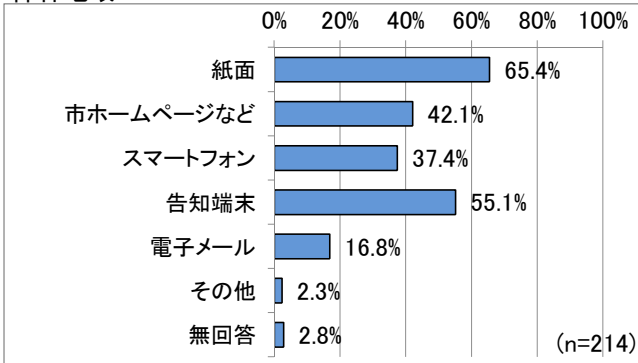
村上地域



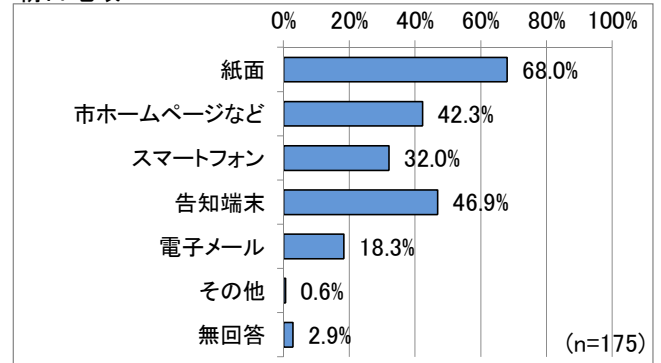
荒川地域



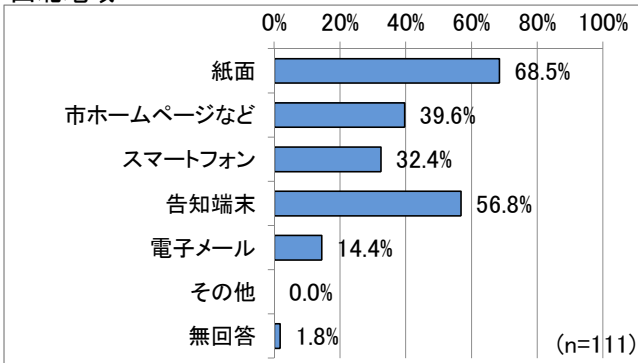
神林地域



朝日地域



山北地域



『まちづくり市民アンケート』のお願い

～今後のまちづくりのために、あなたのご意見をお聞かせください～

日ごろより、市政へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
村上市では現在、「第3次村上市総合計画」※の策定作業を進めており、広く市民の皆さまのご意見、ご提案などを伺うため、市内にお住まいの方にアンケート調査を実施することにいたしました。

ご多忙のところ恐れ入りますが、調査へのご協力をお願い申し上げます。

令和3年2月 村上市

※「総合計画」とは、長期的な展望のもと、目指すべき将来の姿（市の将来像）と、それを実現するために必要となる諸施策の指針を定めるものです。

ご回答にあたってのお願い

1. 本調査は、令和3年2月1日現在、満18歳以上の市民の方から年代別に3,000人
を無作為に選ばせていただき、アンケート用紙をお送りしています。封筒の宛名のご本人様がご回答ください。
2. 調査の結果は統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。
率直なご意見をお書きください。
3. ご回答は、質問ごとに用意した選択肢の中からあてはまる番号を選んでください。
「その他」にあてはまるときは、（ ）内にその内容を具体的に記載してください。
4. ご回答の方法は、次の①②のどちらか一方をお選びください。両方へのご回答はご
遠慮願います。

【①本アンケート用紙による回答】

- ・直接、用紙にはっきりとご記入ください。
- ・ご記入いただきましたら、同封の返信用封筒に入れて、3月11日（木）までに投函してください。（名前を記入する必要はありません。切手も不要です。）

【②ウェブによる回答（スマートフォン・タブレット用）】

- ・右のQRコードを読み取って、回答ページを表示させてください。
- ・ご回答は、3月11日（木）までをお願いいたします。



アンケートについての不明な点、ご質問がありましたら下記までお問い合わせください。

〒958-8501 村上市三之町1番1号 村上市役所

担当 企画財政課 企画政策室 田村・渡辺

T E L 0254-53-2111（代表） 内線 3231、3232

F A X 0254-53-3840（代表）

Email seisaku-m@city.murakami.lg.jp

1. あなたご自身のことについて、おたずねします

問1. あなたの性別をお答えください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2. あなたの年齢をお答えください。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 18～29 歳 | 2. 30～39 歳 | 3. 40～49 歳 |
| 4. 50～59 歳 | 5. 60～69 歳 | 6. 70 歳以上 |

問3. あなたの主な職業は次のうちどれですか。

- | | | |
|--------------------------|-------------------------|-------|
| 1. 自営業（農林漁業） | 2. 自営業（商工業・サービス業・建設業など） | |
| 3. 雇用者（企業や団体などに雇用されている方） | 4. 家事従事者 | 5. 学生 |
| 6. 無職 | 7. その他（ | ） |

問4. あなたがお住まいの地域をお答えください。

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1. 村上地域 | 2. 荒川地域 | 3. 神林地域 |
| 4. 朝日地域 | 5. 山北地域 | |

問5. あなたは、村上市内にお住まいになってから、どれくらいになりますか。

通算年数でお答えください。

- | | | |
|---------------|--------------|---------------|
| 1. 5年未満 | 2. 5年以上10年未満 | 3. 10年以上20年未満 |
| 4. 20年以上30年未満 | 5. 30年以上 | |

問6. あなたのご家族の構成は次のうちどれですか。

- | | | | |
|---------------|--------------|-------------|---|
| 1. 単身（ひとり暮らし） | 2. 一世代（夫婦のみ） | 3. 二世代（親と子） | |
| 4. 三世代（親と子と孫） | 5. 兄弟姉妹 | 6. その他（ | ） |

2. 村上市での住み心地について、おたずねします

問7. あなたは、村上市に愛着を感じていますか。

あてはまるもの1つだけに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. とても愛着を感じている | 2. ある程度愛着を感じている |
| 3. あまり愛着を感じていない | 4. 愛着を感じていない |

問8. あなたは、村上市は住みやすい市だと思いますか。

あてはまるもの1つだけに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|------------------|----------|
| 1. とても住みやすい | 2. どちらかと言えば住みやすい | |
| 3. やや住みにくい | 4. とても住みにくい | 5. わからない |

問9. 問8で、1または2に○をつけられた方におたずねします。

住みやすいと感じる理由について、次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 1. 自然が豊か | 2. 災害が少ない |
| 3. 生活するうえで交通の支障はない | 4. 農林水産物に恵まれ食が豊か |
| 5. 買い物が便利 | 6. 人情がある |
| 7. 町内・集落などのコミュニティがしっかりしている | |
| 8. 犯罪が少ない | 9. 老後も安心して生活ができる |
| 10. 安心して子育てができる | 11. 祭りなど歴史や伝統がある |
| 12. 教育活動が充実している | 13. 働く場がある |
| 14. 教育・文化施設が充実している | |
| 15. 医療施設や福祉サービスが整っている | |
| 16. 道路や下水道などの生活基盤が整っている | |
| 17. スポーツ・レクリエーション施設が充実している | |
| 18. 娯楽やレジャー施設が整っている | 19. 地域活動に参加しやすい |
| 20. 市民参加や情報公開が進んでいる | 21. 行政サービスが充実している |
| 22. その他 () | |

問 10. 問 8 で、3 または 4 に○をつけられた方におたずねします。

住みにくいと感ずる理由について、次の中から3 つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 年々自然が失われていく | 2. 防災体制に不安がある |
| 3. バスや鉄道などの交通の便がよくない | 4. 新鮮で安心な食料が入手しにくい |
| 5. 買い物に不便である | 6. 人間関係が希薄である |
| 7. 町内・集落などのコミュニティが煩わしい | |
| 8. 防犯体制に不安がある | 9. 老後の生活が不安である |
| 10. 子育てしにくい環境である | 11. 祭りなど歴史や伝統が好きではない |
| 12. 教育活動が不十分である | 13. 働く場が少ない |
| 14. 教育・文化施設が少ない | |
| 15. 医療施設や福祉サービスが不十分である | |
| 16. 道路や下水道などの生活基盤が不十分である | |
| 17. スポーツ・レクリエーション施設が少ない | |
| 18. 娯楽やレジャー施設が少ない | 19. 地域活動が多すぎる |
| 20. 市民参加や情報公開が遅れている | 21. 行政サービスが不十分である |
| 22. その他 () | |

問 11. あなたは、これからも村上市に住み続けたいと思いませんか。

あてはまるもの1 つだけに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|--------------|
| 1. これからもずっと住み続けたい | 2. 当分は住み続けたい |
| 3. 一時的に市外へ行くが、将来は村上市に戻ってきたい | |
| 4. 将来的に市外に住むだろう | 5. 市外に住みたい |

問 12. 問 11 で、1 から 3 に○をつけられた方におたずねします。

住み続けたい、戻ってきたい理由について、次の中からあてはまるもの1 つだけに○をつけてください。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 現在の生活に不満がない | 2. 仕事がある |
| 3. 学校がある | 4. 家族がいる |
| 5. 土地や家がある | 6. このまちが好きだから |
| 7. その他 () | |

問 13. 問 11 で、4 または 5 に○をつけられた方におたずねします。

市外に転出する理由について、次の中からあてはまるもの1 つだけに○をつけてください。

- | |
|-------------------------|
| 1. 現在の生活に不満がある |
| 2. 一時的に村上市に住んでいるだけだから |
| 3. 市外で仕事の予定がある (仕事をしたい) |
| 4. 市外に進学の予定がある (進学したい) |
| 5. その他 () |

3. 村上市の暮らしについて、おたずねします

問 14. 左側の全 34 項目に関して、現在の「①満足度」と今後の「②重要度」について各選択肢からあてはまるものを、それぞれ1つずつあなたが感じるままに○をつけてください。

区 分 項 目	①満足度				②重要度					
	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない
1 健康の増進と医療体制の充実 (生活習慣病予防、健康診断、自殺予防対策等)										
2 子育て環境の充実 (育児や健康の相談支援、保育環境の整備等)										
3 高齢者の健康と安心な暮らしづくり (認知症対策、健康寿命の延伸、介護サービスの充実等)										
4 障がい者福祉の推進と自立支援体制づくり (障がい者の福祉サービスと自立への支援等)										
5 総合的な福祉の推進 (福祉総合相談、生活困窮者の支援等)										
6 環境の保全と新エネルギーの推進 (環境問題の意識啓発、新・省エネルギーの普及促進等)										
7 生活衛生の向上と公害の防止 (ごみ減量化、公害防止、火葬場・墓地の管理等)										
8 適正な生活排水の処理推進 (下水道事業、合併浄化槽による生活排水対策等)										
9 水道水の安定的な供給 (水道事業の安定経営、施設の耐震化等)										
10 河川・排水路の整備 (良好な河川環境づくりと維持管理等)										
11 港の整備と賑わいづくり (港湾の整備促進、港を通じた活性化等)										
12 地域の暮らしと活性化を担う道づくり (高速道路の整備促進、生活道路や通学路の整備等)										
13 生活交通の確保・充実 (バスなどによる公共交通体制の整備等)										
14 市街地と景観の整備・保全 (まちなみ整備、都市計画道路の整備等)										
15 良好な住環境の整備 (公営住宅の整備、木造住宅の耐震化、空き家対策等)										

区 分 項 目	①満足度					②重要度				
	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない
16 経営の安定化と魅力ある農業づくり (担い手の育成、食や農業の活性化、有害鳥獣対策等)										
17 森林資源の保全と有効活用の推進 (担い手の育成、市産材の利用促進、森林や林道の整備等)										
18 水産業の活性化と消費拡大の推進 (担い手の育成、漁港の整備、水産物の消費拡大等)										
19 商工業の活性化と市街地の賑わいづくり (商業の活性化、中小企業支援、企業誘致等)										
20 観光誘客活動の展開とおもてなしの環境づくり (観光情報の発信、観光施設の整備・活用等)										
21 就労環境の整備と雇用機会の充実 (雇用確保の支援、ワークライフバランスの推進等)										
22 消防・救急体制の充実 (くらしの安全対策、消防体制の整備、救急救命士の養成等)										
23 防災体制の充実 (防災情報の周知、自主防災組織の強化、防災教育の充実等)										
24 防犯体制の充実と交通安全対策の推進 (LED灯の設置、特殊詐欺等の被害防止、交通安全の啓発等)										
25 “郷育”の推進と学習環境の整備 (小中学校の運営、学校の施設整備等)										
26 生涯を通じた学習の推進 (各種講座の実施、家庭教育支援、生涯学習環境の充実等)										
27 文化財の保存活用と芸術・文化の振興 (史跡調査、歴史文化芸術の振興等)										
28 生涯スポーツと競技スポーツの推進 (スポーツ人口の拡大、スポーツ活動の環境整備等)										
29 平等社会と多文化共生の推進 (人権尊重・男女平等・多文化共生の推進等)										
30 市民協働のまちづくりの推進 (まち協活動・地域おこし協力隊・移住定住の推進等)										
31 広報広聴事業の推進 (市報むらかみの発行、ホームページの運営等)										
32 ICT・情報化の整備推進 (告知端末などの情報通信設備によるサービス提供等)										
33 行財政改革の推進 (歳入の安定化、公有財産・公共施設の適正管理等)										
34 広域行政の推進 (定住自立圏事業の推進、近隣市町村との連携等)										

問 18. 私たちの生活においてデジタル化はどのように進めるべきか、次の中からあてはまるもの1つだけに○をつけてください。

1. スマートフォンなどにより、様々な手続きがオンラインでできる
2. SNSなどにより情報伝達がスムーズに行われる
3. デジタル技術で働き方が変わり、どこでも自由な働き方ができる
4. 店頭や通信販売での買い物がキャッシュレスで決済できる
5. その他 ()

5. 行政との関わりについて、おたずねします

問 19. 市では、限られた予算の効率的な執行に努めていますが、今後、人口減少や住民ニーズの多様化などによって、公共施設の維持管理や助成制度などの行政サービス（市が行う仕事）が今までのようにできなくなることが考えられます。そこで、行政サービスと市民の皆さんの負担（費用・労力）のあり方について、次の中から最も近いもの1つだけに○をつけてください。

1. 現在の行政サービスを維持してほしいので、市民の負担が増えてもやむを得ない
2. 多少、行政サービスが低下しても構わないので、市民の負担は現在の水準よりも増やさないでほしい
3. 行政サービスが低下しても構わないので、市民の負担を現在よりも減らしてほしい
4. どちらとも言えない

問 20. 行政情報の発信手段を、今後どのようにすべきと思いますか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

1. これまでどおり、市報むらかみなど紙面での広報
2. 市ホームページなどによる情報提供
3. 電子メールによる定期的な情報提供
4. SNS（LINE、Twitter、Facebook など）を活用し、スマートフォンによる情報提供
5. 告知端末を活用した情報提供
6. その他 ()

6. これからのまちづくりに対してのご意見など、ご自由にお書きください

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

ご協力ありがとうございました。